

# 生徒指導

## 1 基本的な考え方

- (1) 基本的な生活習慣の確立を図る。
- (2) 集団生活への適応と社会性の育成に努める。
- (3) 自己実現への支援や指導に努める。
- (4) 家庭・病院及び、地域社会との連携を深め、心に届く生徒指導を進める。
- (5) 危険を回避できる知識と行動を身に付けることができるようにする。

## 2 目標

### (1) 小学部

#### ア A・B課程

- (ア) 日常生活における基本的な生活習慣の確立を図る。
- (イ) みんなと仲良く遊び、進んで活動しようとする態度を育てる。

#### イ C・D・E課程

- (ア) 様々な生活経験を通して、基本的な生活リズムを整えることができるようにする。
- (イ) 集団の中で人と関わりを楽しむことができるようにする。

### (2) 中学部

#### ア A・B課程

- (ア) 基本的な生活習慣を身に付け、自ら考え、けじめのある行動ができる生徒を育成する。
- (イ) 集団生活に適応し、明るく思いやりのある生徒を育成する。
- (ウ) 社会生活に必要な知識、技能、態度を育成する。

#### イ C・D・E課程

- (ア) 日常生活動作を身に付けられるよう、教師と一緒に活動させ、基本的な生活リズムを整えることができるようにする。
- (イ) 集団の中で人との関わりを楽しむ力を育みながら、社会生活を送ろうとする態度を養う。

### (3) 高等部

#### ア A課程

- (ア) 基本的な生活習慣の確立と実践、集団への適応と社会性を育成する。
- (イ) 自ら考え、目的を持って行動する生徒を育成する。
- (ウ) 礼儀正しく、節度を持った生徒を育成する。

#### イ C・D・E課程

- (ア) 基本的な日常生活動作や基本的な生活リズムを身に付けようとする態度を養う。
- (イ) 卒業後の家庭や病棟生活を見通しながら、より充実した社会生活が送れるようにする。

## 3 指導上の配慮事項

- ・ 児童生徒の障害や病状、家庭環境等を考慮し指導する。
- ・ 各学部や学校全体で、職員間の連携と共通理解を図る。
- ・ 家庭・病院及びその他の各関係機関等と緊密な連携を図り、指導する。

## 生徒指導 年間指導計画

月	活 動 計 画 及 び 学 習 内 容	備 考
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童生徒写真一覧表作成</li> <li>○ 生徒証明書の発行（中・高等部生徒）</li> <li>○ 校内における携帯電話等使用許可願いの許可（必要に応じて）</li> <li>○ 第1回いじめ防止対策委員会</li> <li>○ 前期伊佐・始良地区高等学校等生徒指導連絡協議会</li> <li>○ P T A総会（児童生徒心得、いじめ防止基本方針等について説明を行う。）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 個別面談については、年間を通じて、随時実施する。</li> <li>○ 各係、学級担任や家庭、病棟等と随時連携を取りながら行う。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめ問題を考える週間</li> </ul>	
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめに関するアンケート（必要に応じて）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめ防止対策委員会は、定期以外にも必要に応じて随時行う。</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「夏休みの過ごし方について」発行</li> </ul>	
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県特別支援学校教育研究会「生徒指導」部会</li> </ul>	
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめ問題を考える週間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報モラルについての指導は、必要に応じて随時行う。</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 後期伊佐・始良地区高等学校等生徒指導連絡協議会</li> <li>○ 始良地区生活指導研究協議会研究大会</li> </ul>	
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ いじめに関するアンケート（学校評価）</li> <li>○ 県生活指導研究協議会研究大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒指導事例研修は、必要に応じて随時行う。</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「冬休みの過ごし方について」発行</li> </ul>	
1		
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第2回いじめ防止対策委員会</li> </ul>	
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「春休みの過ごし方について」発行</li> </ul>	

# 進路指導

## 1 基本的な考え方

本校は小学部から高等部までそれぞれ5つの教育課程があり、障害や病気の状態により卒業後の進路先も進学，就職，福祉サービスの利用や隣接する病院への継続入院等と多岐に渡る。そのため、各学部・各教育課程に応じた進路指導を行い、児童生徒個々の実態やニーズを把握しながら、その特性や適性等に応じた指導や支援を行うことが大切である。児童生徒の希望する進路実現のためにも小学部段階から児童生徒一人一人の将来を見据え、必要な力や付けたい力等を保護者、関係機関と連携し、自立と社会参加に向けた育成を計画的、組織的、継続的に行っていくこととする。

## 2 目標

### (1) 全体目標

- ア 進路希望調査や進路相談等を通して、児童生徒の実態やニーズを把握し、保護者や関係機関と連携しながら、早期からの進路指導に努める。
- イ 児童生徒一人一人の将来を見据え、自立と社会参加に向けたキャリア教育の充実を図る。

### (2) 小学部

- ア 自分及び他者の大切さに気づき、家族や友達・周囲の人々に関わりながら積極的に働きかけようとする児童を育成する。
- イ 得意なことや好きなことを生かして自己の役割意識や働くことの意義が身に付くよう、目標をもって努力しようとする児童を育成する。

### (3) 中学部

生徒自らの生き方を考え、将来に対する目的意識をもって、主体的に自己の進路を選択決定し、生涯にわたる自己実現を図っていくことができるような能力や態度を育成する。

### (4) 高等部

自己理解を徹底し、主体的に進路選択・決定ができるように自立と社会参加に向けた教育活動を充実させ、進路実現につなげる。

## 3 指導上の配慮事項

- ・ 児童生徒個々の障害や病気の状態を把握し、一人一人の能力や適性を発揮させると共に、学校教育活動全体を通してキャリア発達を促す教育を行っていく。（「キャリア発達段階表」参照）
- ・ 進路に関する悩みや問題を解決できる相談の機会を設け、学級担任を中心に進路指導係、自立活動係、教科担任等と連携しながら効果的に進める。
- ・ 上級学校や職業、福祉サービス等に関する情報を提供し、望ましい進路選択・決定につなげられるようにする。
- ・ 学級活動やホームルーム活動等での進路に関する学習を充実させると共に、オープンキャンパス、体験入学、職場訪問、現場実習、面接会等への参加を促し、児童生徒及び保護者の進路に対する意識向上を図る。
- ・ 高等部では、進路先への移行を円滑に行うために「個別の移行支援計画」を作成し、関係機関と移行支援会議を実施する。また、卒業後は関係機関と連携しながら追指導を行い、定期的、継続的にアフターフォローを行っていく。

## 進路指導 年間指導計画

月	活動計画及び学習内容	備 考
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「前期産業現場等における実習」 希望内容の確認 〔高2・3〕</li> <li style="text-align: center;">* 希望調査は前年度実施</li> </ul>	
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「高校説明会（公立・私立）」参加〔中3〕</li> <li>○ 進路希望調査（1回目）〔小6，中・高〕</li> </ul>	○各教科等と連携を図りながら進める。
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学校見学会（体験入学）」参加〔小・中〕</li> <li>○ 「前期産業現場等における実習」四者面談〔高2・3〕</li> <li>○ 前期産業現場等における実習〔高2・3〕</li> <li>○ 校内実習〔高1〕</li> <li>○ 進路講話〔高〕</li> </ul>	○教育相談等での実態把握，情報収集等を行う。
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「後期産業現場等における実習」希望調査</li> <li>○ 三者面談〔高2・3〕</li> <li>○ 校外模試〔高〕</li> <li>○ 求職登録〔高3〕</li> </ul>	○「キャリア発達段階表」の活用を推進を図る。
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「高校・大学等オープンキャンパス」参加〔中・高〕</li> <li>○ 就業体験〔高1・2 (A-I)〕</li> <li>○ 学校・福祉施設見学〔職員〕</li> <li>○ 高等部卒業生追指導〔職員〕</li> </ul>	○産業現場等における実習の巡回指導は，自立活動部と連携して取り組む。
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 入試募集要項取り寄せ，受験諸書類作成〔高3〕</li> <li>○ 就職選考開始〔高3〕</li> <li>○ 「障害者就職面接会」参加〔高3〕</li> </ul>	○年間を通して，必要に応じて進路相談を実施する。
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「後期産業現場等における実習」四者面談〔高2・3〕</li> <li>○ 後期産業現場等における実習（～11月）〔高2・3〕</li> <li>○ 校内実習（～11月）〔高1〕</li> </ul>	○年間を通して，中学部・高等部の卒業生のアフターフォローを必要に応じて行う。
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 三者面談〔中3〕</li> <li>○ 進路希望調査（2回目）〔高3，中3は必要に応じて〕</li> <li>○ 個別の移行支援計画作成〔高3〕（～2月）</li> <li>○ 校外模試〔高〕</li> </ul>	
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 入学願書提出（私立）〔中3〕</li> <li>○ 県特別支援学校技能検定〔高〕</li> </ul>	
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校外模試〔高〕</li> </ul>	
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 進路希望調査（3回目）〔小1～5〕</li> <li>○ 「次年度前期産業現場等における実習」希望調査 〔高1・2〕</li> <li>○ 入学願書提出（公立）〔中3〕</li> <li>○ 「職場実習のための事業所面接会」参加〔高1・2〕</li> <li>○ 移行支援会議（～3月）〔高3〕</li> </ul>	
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 年金説明会〔高3生徒・保護者対象〕</li> <li>○ 今年度の反省・課題の整理と次年度への目標</li> </ul>	
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 諸関係機関との連携：学校，企業，福祉施設訪問及び職場開拓</li> <li>○ 近隣市町の行政及び地域障害者就労支援ネットワークとの連携</li> <li>○ 上級学校，企業，福祉施設等のパンフレットの収集と進路に関する情報等の提供</li> <li>○ 児童生徒への進路に関する掲示物による啓発</li> <li>○ 「進路便り」の発行</li> </ul>	

※ 斜体の文字は，今年度該当者なし

社会で生きていくために必要な力を育てる支援プログラム〈キャリア発達段階表-肢体不自由教育 自立活動を主とした教育課程〉

学部・学年		小学部下学年	小学部上学年	中学部	高等部
暦年齢による役割		集団参加の基礎・活動の開始 学校・家庭生活の中で役割を果たす		活動の拡大・充実 社会の中の役割を知る	活動の実際化・実践 役割を選択する
5つの力	課程				
健康・体調を管理する力	DE	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おおまかな覚醒のリズムをつくる。</li> <li>・痛みや不快を感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・覚醒のリズムが安定する。</li> <li>・痛みや不快の感覚を表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活のリズム（睡眠・食事等）が安定する。</li> <li>・痛みや不快の感覚を伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非日常的な出来事（生活時間帯の変化等）があっても健康状態を保つ。</li> <li>・痛みや不快を取り除くことを要求する。</li> </ul>
社会関係形成能力	DE	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師からの関わりを受け止める。</li> <li>・快・不快を声や表情、身体の動きで表す。</li> <li>・いつも一緒に活動する小集団での活動を受け止める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の関わりに表情や声、身体の動きで応じる。</li> <li>・快・不快を声や表情、身体の動きで伝える。</li> <li>・いつも一緒に活動する小集団の中で、友達を意識する。</li> <li>・教師の適切な援助や準備によって、様々な経験を積む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任以外の関わりを表情や声、身体の動きで応じる。</li> <li>・自分の気持ちを伝えようとする。</li> <li>・教師と一緒に、新しい集団での活動を受け入れる。</li> <li>・大人としての扱いを受けながら様々な活動に参加することで、周囲の人と年齢にふさわしいやり取りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なじみのない支援者の関わりでも受け止める。</li> <li>・自分の気持ちを、相手に自分なりの方法で伝える。</li> <li>・なじみのない集団の活動に落ちて取り組む。</li> <li>・多様な人と触れ合う経験を重ね、自分らしい表現や良いところ（長所）を知ってもらい、やり取りをする。</li> </ul>
自己理解・自己管理能力	DE	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の声や顔が分かり、気持ちを向ける。</li> <li>・すぐ近くの人や物を注視したり、手を伸ばして触ろうとしたりする。</li> <li>・ひとつつながりの物事の終わりを感じ取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なじみのある人や好きな人、物が分かる。</li> <li>・二つの物について違いを感じ取る。</li> <li>・ひとつつながりの物事の終わりを受け入れる。</li> <li>・学校生活を楽しみにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なじみのある人や物とそうでないものが分かる。</li> <li>・選択肢の中から自分の好きな物、したいことを選ぶ。</li> <li>・繰り返される物事について、「～したら、～になる」という短い見通しを持つ。</li> <li>・学習経験を通して、様々なことに慣れ、安定した学習ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲のいろいろな人を声や姿などで区別する。</li> <li>・場所や支援者が変わっても、自分の要求を伝える方法を持つ。</li> <li>・日常的に繰り返される物事について、見通しを持つ。</li> <li>・健康面も含め、しっかりとした個性を発揮することで、様々な可能性を発見してもらい、多様な進路の可能性を、教師とともに見出す。</li> </ul>
課題対応能力	DE	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師からの関わりに興味・関心を持つ。</li> <li>・様々な素材に触れたり、活動を経験したりすることで、興味・関心の幅を広げる。</li> <li>・教師に身体に触れられることを受け止める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の反応に興味・関心を持つ。</li> <li>・興味・関心、振る舞い等が明確になり、本人なりの個性としてそれらを発揮する。</li> <li>・教師からの介助を受け止め、一緒に活動に取り組もうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師から賞賛されたことが分かる。</li> <li>・様々な支援機器を使うことにより、生活の質を上げる。</li> <li>・介助を受けることを受け入れ、一緒に活動に取り組もうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の自分への評価に興味関心を持つ。</li> <li>・価値ある活動（奉仕、労働等）に、支援を受けて自分なりの参加の仕方をする中で、価値を共有する。</li> <li>・協力的な動作をしようとする。</li> </ul>
キャリアプランニング能力	DE	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな遊びを体験する。</li> <li>・教師と一緒に付近の公園や施設を利用する。</li> <li>・安定した健康状態を、教師とともに獲得・確立していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きなことを見付ける。</li> <li>・教師と一緒に電車やバスを利用する。</li> <li>・安定した健康状態や学習した事柄を基盤にして、活動の幅を広げていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きなことや活動を増やす。</li> <li>・教師と一緒に安定した気持ちで1泊程度の宿泊をする。</li> <li>・大人への移行を意識した学習内容や方法により、活動の新たな意味を見出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しめること（好きな人との関わり・活動）を期待して待つ。</li> <li>・自分の楽しめることで余暇などの時間を過ごす。</li> <li>・なじみのない支援者の支援を受けながら、安定した気持ちで1、2泊程度の宿泊をする。</li> <li>・支援を受けながら、学校や家庭以外の場で過ごすことを通して、自分のことを知ってもらい、支援者や活動の場を増やす。</li> </ul>

### 学校教育目標

病弱や肢体不自由のある児童生徒の命や人権を守り、教育的ニーズを的確に把握し、一人一人の発達段階や特性に応じた教育を行い、自立と社会参加に向けて心豊かに生きる児童生徒を育成する。

**生きる力**=自分の人生を、他者や周囲とのつながりの中で主体的にいきいきと心豊かに生きること  
**働く力**=人生のそれぞれの立場における役割を遂行すること

高等部 A C	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら課題をもち主体的に取り組む中で、問題を解決しようとする力を身に付ける。</li> <li>・自分の適性を見付ける。</li> <li>・相手を理解し、場に応じた適切なコミュニケーションを図ることができる。</li> <li>・自己の在り方、生き方を考える。</li> </ul>	取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事の準備等を通して、自分の役割を自覚し、相手・場に応じたコミュニケーションを図りながら、課題に向けて取り組む。</li> <li>・進路学習を通して、社会生活について考えたり自己の適性を踏まえて主体的に進路選択したりすることや、現場実習の経験から自分の課題に気付き、解決に向けて取り組む。</li> </ul>
	<b>ねらい：社会の中で自分らしく生きていくために必要な力を育てる</b>			
中学部 A B C	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いを仲間に伝え、仲間の考えを理解しようとする力を身に付ける。</li> <li>・一人一人が課題をもち、主体的に取り組む。</li> <li>・社会への視野が広がる。</li> </ul>	取組	(A B) ・個人、または仲間と協力した職業調べ(自分なりの職業観を持ったり、興味を持った仕事を追求したり、互いに情報交換して自己の生き方や進路選択に生かす。) (C) ・生活単元学習や体験的作業学習(体験的な活動を通して経験を広げながら見通しを持って取り組み、自分の役割に最後まで取り組む力や、自分から伝える力を高める。)
	<b>ねらい：他者と関わりながら生きるために必要な力を育てる</b>			
小学部 A B C	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の気持ちを表現することができる。</li> <li>・仲間とコミュニケーションを図りながら、共に活動を楽しむことができる。</li> <li>・自分の意思で物事に取り組むことができる。</li> </ul>	取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びや楽しい活動を通して、コミュニケーション力や活動への意欲を高める。</li> <li>・仲間と共に取り組む活動を通して、役割に対する意識を育てる。</li> <li>・選択の幅を広げるために、自分でできることや好きな活動を増やす。</li> </ul>
	<b>ねらい：身近な集団の中で、楽しく活動に取り組みながら、他者と関わる力を育てる</b>			

5 つ の 力	<b>【健康・体調を管理する力】</b>	<b>【かかわる力】</b>	<b>【みつめる力】</b>	<b>【やりぬく力】</b>	<b>【かなえる力】</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の心身の状態が分かる。</li> <li>・自分の体調を伝える</li> <li>・体調を管理する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の意見を丁寧に聞く。</li> <li>・自分の言葉で伝える。</li> <li>・ルールや約束を守る。</li> <li>・自分の役割が分かる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分に自信を持つ。</li> <li>・自分の良いところに気付く。</li> <li>・やりたいことを見付ける。</li> <li>・自分をコントロールする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を見付ける。</li> <li>・計画を立てて見直す。</li> <li>・解決方法を工夫する。</li> <li>・あきらめないで努力する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働くことの大切さが分かる。</li> <li>・色々な情報を知る。</li> <li>・目標に向かって希望を持つ。</li> </ul>

### 学校教育目標

病弱や肢体不自由のある児童生徒の命や人権を守り、教育的ニーズを的確に把握し、一人一人の発達段階や特性に応じた教育を行い、自立と社会参加に向けて心豊かに生きる児童生徒を育成する。

生きる力=自分の人生を、他者や周囲とのつながりの中で主体的にいきいきと心豊かに生きること  
働く力=人生のそれぞれの立場における役割を遂行すること

<b>ねらい：社会の中で自分らしく生きていくために必要な力を育てる</b>		
<b>高 等 部 D E</b>	<b>課題</b> ・好きな活動を手掛かりに、興味が広がる。 ・好きな人との関わりを楽しみながら、経験を広げることができる。	<b>取組</b> ・教科指導（音楽・保健体育）や教科・領域を合わせた指導（日常生活の指導・生活単元学習）を通して、興味関心の幅を広げる。 ・学校生活の中で様々な教師と関わったり、産業現場等における実習や交流及び共同学習の中で、多くの関わりを受け入れたりして環境に慣れる。
<b>ねらい：他者と関わりながら生きるために必要な力を育てる</b>		
<b>中 学 部 D E</b>	<b>課題</b> ・学級の教師を中心に人間関係を広げる。 ・周囲からの働き掛けや刺激を受容する力を高めながら、好きなことを広げることができる。	<b>取組</b> ・教科指導（音楽・保健体育）や教科・領域を合わせた指導（日常生活の指導・生活単元学習）、集団での自立活動を通して、学部の友達や教師との関わりを深め、自己表出の力を高める。 ・学校生活の中で様々な体験活動を積み重ね、やってみたいことや好きなことを見付ける。
<b>ねらい：身近な集団の中で、楽しく活動に取り組みながら、他者と関わる力を育てる</b>		
<b>小 学 部 D E</b>	<b>課題</b> （下学年）・特定の教師と安心できる関係を築く。 （上学年）・教師との関係を基盤に様々な活動に取り組むことができる。	<b>取組</b> ・学校生活の中で、教師からの関わりに気付き、それを受け入れることができる。 ・学校生活の中で、自分の好きな刺激や嫌いな刺激が分かり、自分のできる手段で表出することができる。

<b>5 つ の 力</b>	<b>【健康・体調を維持する力】</b> ・生活のリズムが安定する。 ・痛みや快・不快の感覚が分かり、表現する。	<b>【かかわる力】</b> ・教師からのかかわりに応じる。 ・自分の気持ちを他者に伝える。 ・集団の活動に慣れて受け入れる。 ・自分の役割が分かる。	<b>【みつめる力】</b> ・なじみのある人や物が分かる。 ・やりたいことを見付ける。 ・日常的に繰り返される物事について見通しをもつ。	<b>【やりぬく力】</b> ・見通しを持って活動に取り組むことができる。 ・様々な刺激を受け入れることができる。	<b>【かなえる力】</b> ・好きな活動を増やし、楽しむ。 ・活動の幅を広げていく。 ・自分の楽しめることで余暇などの時間を過ごす。
----------------------------	--	---	--	---	--

社会で生きていくために必要な力を育てる支援プログラム〈キャリア発達段階表-小学部〉 ☆は具体的な実践例



学部・学年		小学部低学年（1・2年）	小学部中学年（3・4年）	小学部高学年（5・6年）	
自立した社会人への段階		好きなことを見つけ、 他者との関係を築く時期	他者との関係を深め、 集団の中で自己を生かす時期		
5つの力	課程				育成すべき能力や態度 (基礎的・汎用的能力)
健康管理・ する調力を	A	○自分の心身の状態を把握し、自己コントロールする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体の変調を大人に伝えることができる。</li> <li>・疲れたら休むことを知る。</li> <li>・自分の身長・体重に関心を持つ。</li> <li>・病気にかからないために気を付けることを知る。</li> <li>・健康診断の上手な受け方が分かる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調が悪くならないように気を付ける。</li> <li>・体調が悪くなったときにしなければならないことが分かる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の病気や障害について理解できる。</li> <li>・発育に伴う心や体の変化等、男女の特性が分かり、適切な対応ができる。</li> </ul>
	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の病気や障害の状態の理解</li> <li>・健康状態の維持・改善に必要な生活様式の理解と生活習慣の確立</li> <li>・健康状態の維持・改善</li> </ul>			
人間関係形成能力・ 社会形成能力	A	○他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを伝えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶や返事をする。</li> <li>・「ありがとう」「ごめんなさい」を素直に言える。</li> <li>・自分の考えや思いをみんなの前で言ったり、人の話を静かに聞いたりする。</li> <li>・友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>・友達と助け合って仲良く遊ぶ。</li> <li>・お世話になった人に感謝の気持ちを表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・礼儀やマナーの大切さを理解し、相手の立場に立って考える。</li> <li>・自分の意見や気持ちを分かりやすく表現できる。</li> <li>・友達と協力して学習や活動に取り組む。</li> <li>・自分や相手の良いところを見つけ、励まし合う。</li> <li>・自分の生活を支える人々の存在に感謝の気持ちを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敬語を正しく使い、礼儀をわきまえた行動が取れる。</li> <li>・話し合いなどに積極的に参加し、自分と異なる意見も理解しようとする。</li> <li>・思いやりの心を持ち、相手の立場に立った行動ができる。</li> <li>・異年齢集団の活動に進んで参加し、役割と責任が果たせる。</li> </ul>
	B	○自分の立場を理解し、役割を果たすことができる。			
C	○他者と協力し、物事に取り組むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者の個性を理解する力</li> <li>・他者に働き掛ける力</li> <li>・コミュニケーション・スキル</li> <li>・チームワーク</li> <li>・リーダーシップ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆登校時に進んで挨拶する。</li> <li>☆学校行事等を通して、全校の児童生徒と触れ合う。</li> <li>☆遊ぶことを通して、友達の良さを見付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆校内探検等で様々な人と出会い、自分のコミュニケーション手段を使って思いを伝える。</li> <li>☆様々な活動で、今まで気付かなかった友達の姿を発見する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆学校行事や校外学習などを通して、様々な人と交流する。</li> </ul>
		挨拶や返事ができる。  お世話になった人に感謝の気持ちを表現する。互いに信頼し合い協力し合う仲間を得る。			
自己理解・ 自己管理能力	A	○自分のことを理解し、これからの自分に必要なこと（課題）を見つけることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の好きなことや嫌いなことをはっきりと言う。</li> <li>・自分の好きな物、大切なものを持つ。</li> <li>・学校で「して良いこと」と「悪いこと」が分かる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のやりたいこと、よいと思うことなどを考え、進んで取り組む。</li> <li>・してはいけないことが分かり、自制する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・係活動等で、自分のやりたい係、やれそうな係を選ぶ。</li> <li>・身近な大人に自分の悩みや葛藤を話す。</li> <li>・自分の長所や短所に気付き、自分らしさを発揮する。</li> <li>・自分と異なる意見も理解し、話し合い活動に積極的に参加する。</li> </ul>
	B	○自分の課題解決のために進んで取り組み、努力することができる。			
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の役割の理解</li> <li>・前向きに考える力</li> <li>・自己の動機付け</li> <li>・忍耐力</li> <li>・ストレスマネジメント</li> <li>・主体的行動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆したい遊びを自分で選んで遊ぶ。</li> <li>☆安全で楽しい学校生活を送るために、仲間と共にクラスの決まりを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆より良い学校生活を送るため、必要な係を考え、活動する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆自分の夢や将来の目標について身近な大人に話し、意見を聞く。</li> <li>☆学校の行事を計画・立案するために、友達の意見を聞いたり、自分の意見を伝えたりする。</li> </ul>	



課題対応能力	やりぬく力	A	○活動する上での様々な課題を発見・分析し、解決のための適切な計画を立ててその課題を解決することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分がやらなければならない勉強や仕事をしっかりと行おうとする。</li> <li>自分のことは自分で行おうとする。</li> <li>☆友達と楽しく遊ぶにはどのようにすればよいか考え遊ぶ。</li> <li>☆校外学習等で知りたいことを自分で決める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習や活動などの計画を立てる。</li> <li>自分の仕事に対して責任を感じ、最後までやり遂げようとする。</li> <li>自分の力で、課題を解決しようと努力する。</li> <li>☆クラスの活動でうまく進まなかった場合、その原因を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活や学習上の課題を見付け、自分の力で解決しようとする。</li> <li>将来の夢や希望を持ち、実現を目指して努力しようとする。</li> <li>☆学校生活に関するいろいろな問題について話し合い、解決する。</li> </ul>
		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報の理解、選択、処理</li> <li>本質の理解</li> <li>原因の追及</li> <li>課題発見</li> <li>計画立案</li> <li>実行力</li> <li>評価、改善</li> </ul>	<b>自分で考え自分で行動する。</b>		
キャリアプランニング能力	かなえる力	A	○学ぶことや働くことの意義や役割、及びその多様性を理解し、様々な情報を適切に取捨選択し、自己の進路や生き方の選択に生かすことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>家の手伝いや割り当てられた仕事等の役割の必要性が分かる。</li> <li>学校探検や学校周辺の探検などを通し、身近で働く人々の様子がわかり、興味関心を持つ。</li> <li>係や当番の活動に取り組み、それらの大切さが分かる。</li> <li>人の役に立つことをうれしく思う。</li> <li>仕事の役割を分担することの大切さを理解する。</li> <li>☆仲間の前で自分がした手伝いについて話せる。</li> <li>☆当番の仕事や係活動を協力して行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな職業や生き方が分かる。</li> <li>分からないことを調べる方法が多様にあることが分かる。</li> <li>図書館やインターネット等で調べる方法を身に付ける。</li> <li>係や当番活動に積極的にかかわる。</li> <li>働くことの楽しさが分かる。</li> <li>互いの役割や役割分担の必要性が分かる。</li> <li>日常生活の学習と将来の生き方の関係に気付く。</li> <li>働くことの大切さを理解する。</li> <li>☆地域の職場を見学し、地域に定着している理由や地域に与えている影響などについて考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な産業・職業の様子やその変化がわかる。</li> <li>自分に必要な情報を探す。</li> <li>自分の課題について調べたこと、まとめたことを発表する。</li> <li>施設・職場見学等を通し、働くことの大切さや苦労が分かる。</li> <li>学んだり体験したりしたことと生活や職業との関連を考える。</li> <li>社会生活にはいろいろな役割があることやその大切さがわかる。</li> <li>仕事における役割の関連に気付く。</li> <li>仕事に従事している人々の工夫や努力を理解する。</li> <li>☆職場見学を行い、仕事に従事している人の工夫や努力について聞く。</li> </ul>
		B	<ul style="list-style-type: none"> <li>学ぶこと、働くことの意義や役割の理解</li> <li>多様性の理解</li> <li>将来設計</li> <li>選択</li> <li>行動と改善</li> </ul>	<b>手伝いができる。</b> <b>いろいろな職業があること、働くことの意義が分かる。</b>		
		C	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のことは自分です。</li> <li>自分にできることについて考え、役割の必要性を理解する。</li> <li>☆自分の役割を意識し、ごっこ遊びをする。</li> <li>☆家庭で自分にできる仕事を見つけ、責任を持って役割を果たす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>互いの役割や役割分担の必要性を理解する。</li> <li>仕事の役割の関連性や変化に気付く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭生活や社会生活には、いろいろな役割があることやその大切さを理解する。</li> <li>日常の生活や学習と将来の生き方との関係に気付く。</li> <li>☆学校行事(遠足・運動会・学習発表会など)の係分担を行い、自分が果たすべき役割や事後の反省を発表する。</li> </ul>	
			<b>自己の役割を知る。</b> <b>自己の役割を理解し、計画を立てて実行する。</b>			

社会で生きていくために必要な力を育てる支援プログラム〈キャリア発達段階表-中学部・高等学部〉☆は具体的な実践例

学部・学年		中学部 1・2年	中学部 3年	高等部 1・2年	高等部 3年	
社会人への段階		社会での自立に向けた準備を整える時期			社会での自立を促し、目標に向かって力をつける時期	
5つの力	課程					
健康管理・ 身体的調力を	A	・身体機能の発達を理解するとともに、性差と個人差があることが分かる。	・自分の病気や障害に応じた日常的な対応の仕方を理解し、行動に移すことができる。	・病気や障害と向き合いながら、社会で生きることについて考える。	・日々の生活規制等からくるストレスを適度にコントロールする手段を見つける。	
	B C	・欲求やストレスに適切に対処し、心身の調和を保つ。	・健康の保持増進には調和のとれた食事、運動、休養及び睡眠が必要であることが分かる。 ・医療機関の有効な利用の仕方について学ぶ。	・適切な意思決定や行動選択の重要性を認識し、自分自身による健康管理に努める。 ・働くことと健康の相互作用について理解し、職場における健康管理の必要性について認識できる。	・健康的な職業生活を送るために心と身体の健康作りについて考える。 ・日常生活におけるの余暇の確保と活用法について考える。	
人間関係形成能力・ 社会形成能力	かかわる力	A	・時、場所、相手との関係をわきまえ、礼儀正しく応接できる。	・自分の思いや意見を適切に伝え、他者の意見等を的確に理解する。	・自己の思いや意見を適切かつ効果的に伝え、他者の意見を的確に理解する。	
		B C	・相手の立場を理解し、お互いに支え合って活動できる。 ・新しい環境や人間関係に対応できる。 ・他者の長所や感情を理解する。 ・自分の言動が他者に与える影響を理解する。	・異年齢の人等、多様な他者と、場に応じた適切なコミュニケーションを図る。  ☆現場実習先との事前・事後の連絡や実際に、相手の意図を理解し、自己の思いや意見を適切に伝える。  ・様々な機会をとらえ、自己の職業的な能力や適性に気付く。 ・現場実習で主体的に様々な仕事や活動に取り組もうとする。	・相手の能力を引き出すような言動を取り、チームワークを高める取組をする。  ☆現場実習で適切なコミュニケーションを図り、自分に求められている役割を果たす。 ・自己の職業的な能力・適性を理解し、それを受け入れ、一層高めるように努力する。 ・他者の価値や個性を理解し、それを受け入れて、自己の考えを広げたり深めたりする。  ☆福祉施設や事業所、上級学校を見学し、自己の適性を発揮できる環境であるか判断する。	
		 <b>相手を理解し、礼儀正しい言動ができる。</b>			 <b>相手の立場や考えを尊重し、場面や目的に応じたコミュニケーションができる。</b>	
自己理解・ 自己管理能力	みつめる力	A	・身近な人と相談して進路を考え、その実現に向けて必要な努力をしようとする。	・選択の基準となる自分なりの価値観、勤労観、職業観を持つ。	・進路希望を実現するための諸条件や課題を理解し、実現の可能性について検討する。	
		B C	・選択の過程や結果には自己責任が伴うことを理解する。  ☆社会人・職業人・先輩の話をもとに参考にして進路や卒業後の生活について考え、学習の目標や計画を考える。	・多様な選択肢の中から、自己の意思と責任で進路や学習を主体的に選択する。  ☆今の自分の進路目標以外の自分の可能性にも目を向け、多様な選択肢から比較して再度考える。	・選択結果を受容し、決定に伴う責任を果たすようにする。  ☆職場や上級学校の見学や体験をして、進路の具体的なイメージを作り、その実現のために行動する。	

課題対応能力	やりぬく力	A	・より良い生活や学習を目指して、自ら課題を見つけていくことの大切さを理解する。	・確かな進路選択にあたって、学習や進路選択の過程を振り返る。	・自己の現状を把握し、将来設計、進路希望の実現のための様々な課題に気付く。	・将来設計、進路希望の実現を目指して課題を設定し、その解決に取り組む。	
		B	・様々な課題に向け、主体的に取り組む。	・より良い進路や生き方を目指す上での課題に気づき、解決に向けて取り組む。	・自分を生かし、役割を果たしていく上での様々な課題をその解決策について検討する。	・理想と現実との葛藤経験等を通し、様々な困難を克服するスキルを身に付ける。	
		C	☆いろいろな活動により良く参加するためにどのようにしたら良いか考え、実行する。	☆進路選択に関わる課題に対してどのように克服しようとしているのか考え、実行する。	☆現場実習の経験を通して分かった課題に、主体的に取り組む。	☆自らの興味・関心や能力・目標にあった進路決定をする。	
		<b>将来への展望をもって、課題解決に取り組む。</b> 			<b>自己を理解し、進路実現に向けた準備に取り組む。</b>		
			・夢や希望を職業に結び付け、今後の方向性を持つ。 ・進路希望に基づいて目標を立てる。  ☆自分史を年表にまとめ、これまでの振り返るとともに将来の自分を考える。	・希望する職業への関心・意欲を高める。 ・進路計画を立てる意識や方法を理解し、具体的に作成する。 ・進路の目標達成に向け、努力するようにする。  ☆上級学校の見学を計画し、実行する。	・生きがいとやりがいがあり、自己を生かせる進路や生き方について、様々な可能性を検討する。 ・職業について、総合的・現実的な理解に基づいて、将来を設計し、進路計画を立案する。  ☆自分の適性を踏まえて将来の目標を設定し、その実現に必要な進路計画を立案する。	・生きがいややりがいがあり、自己を生かせる進路や生き方を、現実的に考える。 ・将来設計、進路計画の見直しや再検討を行わせ、その実現に取り組む。  ☆具体的な進路先を決定し、卒業後3年間のプランを作成する。 ☆福祉サービスやハローワーク、障害者就労生活支援センター等について知る。	
キャリアプランニング能力	かなえる力	A	・様々な職業があることや、それぞれの職業の大切さが分かる。	・社会構造の変化に伴って職業が変化することを理解する。	・卒業後の進路や職業・産業の動向について、情報を集め、考える。	・職業生活における権利・義務や責任、職業に就く手続き・方法等について理解する。	
		B	・様々なメディアを通して進路に関する情報を収集・整理し、活用する。	・様々な方法を用いて生き方や進路に関する情報を収集・整理し、それらを基に将来を考える。	・調べたこと等を、自分の考えを自分なりの方法で発表する。	・調べたことを自分の考えを交え、自分なりの方法で適切かつ効果的に発表・発信する。	
		C	☆様々な職業についての情報の収集・整理し、発表する。  ・今学習していることが将来の障害の職業選択に役立つことを理解する。 ・勤労の尊さや意義を理解する。  ☆職業について話を聞き、働くことの意義について考える。	☆学校見学会や説明会に参加し、自己の進路選択に役立てるため、情報を整理する。  ・将来の職業と関連付けて、今の学習の必要性や大切さを理解する。 ☆職業人の話を聞き、仕事や学習の意義を発表する。	☆校外学習や修学旅行の情報を収集・整理し、しおりを作成したり、整理したことを発表したりする。 ☆教科(情報や総合的な学習の時間等)のテーマに関連した情報を集め、プレゼンテーションを作成する。 ・現場実習やオープンキャンパス等に参加する。 ・勤労観・職業観を深める。 ☆現場実習先について理解し、自分の持っている力を発揮する。	☆卒業生のお話を聞き、自分の生き方を考える。 ☆年金について学習する。  ・現場実習等の社会参加体験を通して自分の課題を発見し、解決に向けて主体的に取り組む。 ☆福祉の現状と利用の仕方について学ぶ。 ☆自分の進路と結び付けて、その実現に向けて具体的に行動する。	
		 <b>勤労の貴さを理解し、自己の在り方・生き方を考える。</b>					
			・集団における自分の役割や仕事の進め方を理解する。 ・今の生活や学習が将来の生き方に関わることを理解する。  ☆学校行事を運営するのに、どのような係が必要か話し合い、自らの責任を果たす。	・より良い集団活動をするために、役割分担や仕事の進め方を理解し、自分の役割を責任をもって、果たせるようにする。 ・個人と社会との関わりや様々な職業の社会的役割を理解し、生き方を考える。  ☆児童生徒会活動に積極的に参加し、自らの責任を果たす。	・学校・社会において自分の果たすべき役割を自覚し、その役割を積極的に果たせるようにする。 ・将来、自分が築く家庭やそれを基盤としてかわる社会に対して負う役割や責任を考える。  ☆将来、どのような家庭や社会を築いていきたいか話し合い、発表する。	・将来設計に基づいて、今取り組むべき学習や活動を理解する。 ・ライフステージに応じて個人が家庭や社会に対して負う役割や責任を積極的に果たすようにする。 ☆学校行事の企画・運営に積極的に参加して、自分に求められている役割を把握し、それをどのように果たすことが効果的であるかを考えて活動する。	
		<b>集団の中で自己の役割を理解し、将来の目標を持つ。</b> 			<b>社会の中で自立した生活を送るための将来設計を行い、実現に向けて取り組む。</b>		

# 令和3年度 安全に関する全体指導計画

項目	4	5	6	7・8	9	10	11	12	1	2	3	
本年度の努力点 (重点事項)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校安全体制を充実させ、安心して学べる学校づくりに努める</li> <li>・ 安全に関する意識の高揚</li> <li>・ ヒヤリハット事例や安全指導に関する共通理解の徹底</li> <li>・ 緊急対応の研修および緊急対応マニュアルの整備・充実</li> </ul>											
安全学習	体育 保健体育	・体づくり、器械運動、指導における安全 ・運動会練習や当日の練習 ・救急法講習、心肺蘇生法、陸上・水泳指導における安全 ・球技指導における安全・保健指導(傷害の防止・交通安全・応急手当)										
	理科	・実験器具等の安全な使い方及び実験で使用する薬品等の安全な使い方と点検										
	図画工作 美術	・使用するハサミやカッター、ナイフ、彫刻刀、金槌、土練機などの道具の安全な使い方 ・竹ひご、銅板、板などの材料の安全な使い方 ・共同作品制作時の安全な場の設定										
	家庭 技術・家庭	・設備・機器類の点検(定期点検・使用前、使用后) ・電気、ガスなどの火器、薬品、塗料、針、刃物、機器等の安全に配慮した取り扱い ・材料、調理器具等の衛生的な管理と取り扱い(使用前後の点検、消毒等を含む) ・安全に配慮した作業手順 ・ゴミ、廃液、廃材等の処理 ・食物アレルギーへの対応										
	作業学習	(中学部)・シュレッダー・ミキサー等、道具の安全な使い方 ・材料の安全な使い方 (高等部)・材料・薬品の安全な取り扱い										
	自立活動	・ポジショニング(呼吸、頭部の安定、手足の可動域) ・体調管理(体温、室温、水分補給) ・排たん ・適切な教材教具の選択・使用 ・車椅子等の定期的な調整及び安全な使用 ・補装具(体幹・下肢装具、口腔内装置など)の安全な使用										
	総合的な学習 ・探究の時間	・学校における全教育活動との連携を基に計画し、自然体験や活動を促すなかで、児童生徒の自発的な計画に基づき安全に対する意識を高める										
	生活安全 (防犯を含む)	○緊急時対応訓練			○夏休みの過ごし方 ○不審者対応訓練 ・不審者から自分を守る(避難)方法				○冬休みの過ごし方			・春休みの過ごし方
	交通安全	○通学/バス避難訓練 ・登下校時や校外学習時の安全な歩行・乗車		○雨の日の交通安全 ・傘の使い方		○交通安全教室 ・信号の見方、待ち方 ・横断歩道の渡り方				○雪の日の交通安全		
	災害安全 (地震・火災・原子力災害等)		○避難訓練(火災) ・炎や煙の怖さ・被害 ・消火器の使い方 ・避難の仕方		○避難訓練(地震・津波) ○引き渡し訓練 ・地震や津波の怖さ・被害 ・避難の仕方			○津波・防災期間 ・津波の怖さ・被害 ・避難の仕方				
学級活動 ホームルーム 活動	・日頃の安全指導や定期的な避難訓練に関して、学級活動を活用して事前・事後学習を行い、児童生徒がより理解できるように繰り返し指導する											
学校行事等	○入学式	○一日満足 ・道具等の安全な使用 ○運動会(学部開催)	○前期産業現場等における実習(高)	○修学旅行(高)	○校外学習(中) ・安全な移動(歩行・乗車)	○校外学習(小D) ・安全な移動(歩行・乗車)	○後期産業現場等における実習(高) ○校外学習(小C) ・安全な移動(歩行・乗車) ○修学旅行(小・中)				○卒業式	
安全管理	対人管理	・児童生徒の状況把握 ・通学経路の確認 ・緊急体制の確認(医療的ケア) ・火元責任者の表示 ・避難経路確認/健康観察	・運動会練習、当日における健康観察と健康管理 ・心肺蘇生法の確認 ・AEDの取り扱い	・水泳指導健康管理 ・心臓蘇生法の確認 ・夏季休業中の安全管理	・水泳指導健康管理	・水泳指導健康管理			・冬季休業中の安全	・照度検査	・春季休業中の安全	
	対物管理	・防災計画届け出 ・安全対策マニュアル(緊急時の連絡体制) ・避難経路点検	・プール施設・設備点検 ・冷房点検	・プール施設・設備点検 ・水質検査 ・照度検査	・プール施設・設備点検 ・防災設備点検 ・室内有害物質検査	・プール施設・設備点検 ・照度検査		・暖房器具の設備点検		・防災設備点検		
各教室、特別教室等の防火管理担当者による消防設備点検と閉鎖障害チェック、校内巡回指導												
学校安全に関する組織活動(研修を含む)	・春の交通安全運動 ・通学バスに関する研修(リフト操作、車椅子等固定) ・緊急時対応訓練 ・ヒヤリハット(安全・医ケア)報告 ・安全点検	・救急法及びAED講習会 ・避難訓練(火災)	・プール学習事前研修会 ・学校保健委員会 ・防火・防災対策委員会	・ヒヤリハットのまとめと報告(1学期分) ・不審者対応訓練 ・研修「不審者対応」 ・防火・防災研修	・秋の交通安全運動 ・避難訓練(地震・津波) ・引き渡し訓練 ・防火・防災対策委員会			・ヒヤリハットのまとめと報告(2学期分)		・学校保健委員会	・ヒヤリハットのまとめと報告(3学期分) ・防火・防災対策委員会	

保健に関する全体指導計画

年間目標		① 医療機関及び病棟，家庭と連携をとりながら，児童生徒の健康の保持増進に努める。 ② 病棟，家庭との連絡を密にし，児童生徒の健康状態について，的確な情報の収集や提供に努める。 ③ 児童生徒が自己の症状を理解し，健康管理できるように適切な指導をする。										
月		4	5	6	7・8	9	10	11	12	1	2	3
保健目標		自分の体を知ろう	身のまわりを清潔にしよう	歯を大切にしよう	夏を元気に過ごそう	生活のリズムを整えよう	目を大切にしよう	うがい・手洗いをしっかりしよう	かぜやインフルエンザに気をつけよう	冬を元気に乗り切ろう	部屋の換気をしよう	耳を大切にしよう 1年間の健康を振り返ってみよう
保健に関連する行事		<ul style="list-style-type: none"> <li>身体計測等</li> <li>内科検診</li> <li>尿検査（1次）</li> <li>心臓検診</li> <li>緊急時対応訓練</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>結核健康診断</li> <li>胸部デジタル撮影</li> <li>耳鼻科検診</li> <li>歯科検診</li> <li>尿検査（2次）</li> <li>運動会前の健康相談</li> <li>水泳学習前の健康相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>口腔衛生指導</li> <li>職員B型肝炎抗原抗体検査</li> <li>職員身体計測</li> <li>職員血液検査</li> <li>学校保健委員会</li> <li>衛生委員会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員B型肝炎予防接種（1回目）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身体計測（身長・体重）週間</li> <li>職員B型肝炎予防接種（2回目）</li> <li>修学旅行前の健康相談（小・中学部）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>職員インフルエンザ予防接種</li> <li>職員研修「健康相談」</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>身体計測（身長・体重）週間</li> <li>職員B型肝炎予防接種（3回目）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校保健委員会</li> <li>衛生委員会</li> <li>職員胃検診</li> <li>B型肝炎抗体価検査</li> </ul>	
保健	学	体育 保健体育	(小) けんこうな生活，体の成長とわたし，心の健康・けがの防止，病気の予防 (中) 心身の発達と心の健康 (体の発育，性機能の成熟，性とどう向き合うか)，健康と環境，傷害の防止，健康な生活と病気の予防 (高) 現代社会と健康 (生活習慣病，薬物乱用，性感染症)，生涯を通じる健康 (思春期の心と体の成長，新しい生命の誕生，幸せで健康な家庭づくり)，社会生活と健康 (環境，食品，労働)									
		生活科	(小1) はるとともだち，あきとともだち，おおきなあれ・きゅうこんをそだてよう (栽培) (小2) めざせ野さい名人，生きもの大すき									
		理科	(小) 動物のからだのつくりと運動，魚のたんじょう，人のたんじょう，動物のからだのはたらき，生き物のくらしと環境 (中) 動物の生活と生物の変遷，生命の連続性，自然と人間 (高) 生物の特徴，遺伝子とのはたらき，生物の体内環境の維持，生物の多様性									
		技術 家庭	(中) 工具や工作器機の安全な使用について指導する。(中) 健康と生活，食品の選択と保存，調理学習，地域の食材と食文化，家族・家庭と子どもの成長 (高) 人と食物のかかわり，私たちの食生活，栄養と食品のかかわり，食品の選び方と安全，食事の計画と調理，これからの食生活を考える衣服の機能，健康的な住まい環境，人生をみつめる，子どもを育てる									
	習	作業学習	材料の取扱い，片付け等において安全・衛生面に気をつけて指導を行う。									
	健	学級活動	(小) 夏の健康管理，丈夫な体，歯みがき教室 (中) 男子，女子…同じ？ちがう？，健康で安全な生活を送るために，わたしたちの習慣と規律ある生活，生涯を支える健康と安全，わたしたちの毎日と食生活 (高) 口腔衛生指導，心と体の健康について，エチケットとマナー									
	教	日常生活の指導	① 手洗い・うがい・汗拭き・歯みがき等の基本的な生活習慣を身につけることができるようにする。 ② 健康観察や検温を行い，自分の健康状態についての理解や意識を高めることができるようにする。 ③ 健康を意識して，好き嫌いなく適量に食べることができるようにする。									
	育	生活単元学習	〈小〉：修学旅行に行こう 〈中〉：修学旅行に行こう 〈高〉：前期（後期）実習に向けて，季節に応じた過ごし方，修学旅行に行こう									
保健	自立活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりが自分でできること（移動，手洗い，トイレ，衣服の着脱，食事動作，他）を最大限に生かした日常生活を展開させる。</li> <li>一日の流れや身体の状況，体調に配慮しつつ，こまめに姿勢変換や水分補給等を行う。</li> <li>体調について自己管理（体温，水分，呼吸，他）の可能な児童生徒については，なるべく個で課題意識をもち対応させる。</li> </ul>										
		保健指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康診断の受け方</li> <li>保健便り発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>規則正しい生活</li> <li>健康診断の受け方と結果</li> <li>運動会に向けての健康管理</li> <li>保健便り発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歯の衛生週間</li> <li>食中毒予防</li> <li>手洗いの励行</li> <li>水泳学習に向けての健康管理</li> <li>歯を大切にしよう</li> <li>保健便り発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏の生活</li> <li>保健便り発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>結核予防週間</li> <li>熱中症予防</li> <li>保健便り発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目の愛護デー</li> <li>目を大切にしよう</li> <li>保健便り発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>うがい手洗いの励行</li> <li>職員研修「健康相談」</li> <li>保健便り発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健便り発行</li> <li>かぜやインフルエンザの予防</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬の健康な過ごし方</li> <li>保健便り発行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健便り発行</li> </ul>
保健	健康管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診器具の点検</li> <li>定期健康診断の計画と実施</li> <li>保健調査票の記入と確認</li> <li>健康観察の周知と実施</li> <li>服薬預かりについて</li> </ul>										
		<ul style="list-style-type: none"> <li>定期健康診断の実施及び事後措置</li> <li>測定結果のまとめ</li> <li>運動会前の健康相談</li> <li>水泳学習前の健康相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期健康診断の事後措置</li> <li>口腔衛生指導（歯みがき教室）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>身体計測週間</li> <li>修学旅行前の健康相談（小・中学部）</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>身体計測週間</li> </ul>				

管 理	環境管理	・学校の施設・設備の点検	・給食施設設備の検査 ・プール施設設備の検査	・照度検査 ・プール・飲料水の水質検査 ・給食施設設備の検査	・校内の清掃 ・照明器具・換気扇の清掃点検 ・害虫駆除 ・室内空气中化学物質検査 ・ダニアレルギー検査	・給食施設設備の検査 ・騒音検査	・照度検査 ・黒板検査	・二酸化炭素の検査		・給食施設設備の検査 ・二酸化炭素の検査	・医薬品の管理検査 ・教室等の備品の管理	
	保健指導	・緊急物品等の確認 ・身体計測 ・保健衛生チェック ・教育活動中における緊急事態の確認 ・緊急時対応訓練	・保健衛生チェック	・口腔衛生指導（歯みがき教室） ・保健衛生チェック	・保健衛生チェック ・教育活動中における緊急事態の記入	・保健衛生チェック ・身体計測週間	・保健衛生チェック	・保健衛生チェック	・保健衛生チェック	・保健衛生チェック ・身体計測週間	・保健衛生チェック ・感染症対策マニュアル等の見直し ・年間反省	・保健衛生チェック ・教育活動中における緊急事態の引き継ぎ ・次年度の計画作成
学 校 保 健 に 関 す る 組 織 活 動	体育指導	・プール管理委員会	・プール掃除 ・プール管理 ・障害者スポーツ大会 ・運動会の練習	・水泳学習 ・プール管理 ・運動会の練習 ・運動会	・水泳学習 ・プール管理 ・プール開放ポート ・プール掃除 ・施設設備の整理整頓	・水泳学習 ・プール管理 ・プール掃除	・プール管理	・プール管理	・プール管理 ・施設設備の整理整頓	・プール管理	・プール管理 ・年間反省	・プール管理 ・施設設備の整理整頓 ・次年度の計画作成
	医療的ケア	・医ヶ校内委員会 ・医ケア手続き ・主治医の下での研修（随時） ・医ケア対象保護者への説明 ・校内医ケア委員会			・医ヶ校内委員会				・医ヶ校内委員会	・医療的ケア実施要項の見直し ・次年度新規・継続申請手続き	・新入生への説明 ・年間反省	・医ヶ校内委員会 ・次年度の計画作成
	安全指導	・安全点検 ・通学バスに関する研修（リフト操作、車椅子の固定等） ・通学バス避難訓練 ・登下校の指導 ・ヒヤリハット報告（随時）	・安全点検	・安全点検	・安全点検 ・職員研修「不審者対応」 ・不審者対応訓練	・安全点検 ・交通安全教室	・安全点検	・安全点検	・安全点検	・安全点検	・安全点検 ・年間反省	・安全点検 ・次年度の計画作成
	食育	・食育便り発行 ・「給食指導の個人カルテ」作成 ・新1年生お試し給食実施 ・摂食相談週間の実施	・食育月間 ・食育便り発行 ・職員研修「摂食指導」	・病棟生との交流給食 ・食育便り発行	・学校給食運営・食育推進委員会 ・給食試食会（PTA主催） ・食育便り発行 ・外部専門家による摂食指導（期間未定）	・病棟生との交流給食 ・食育便り発行	・食育便り発行	・給食感謝祭 ・食育便り発行	・給食試食会（PTA主催） ・学校給食運営食育推進委員会 ・食育便り発行	・学校給食週間 ・食育便り発行	・学校給食運営食育推進委員会 ・食育便り発行 ・年間反省	・「食に関する指導全体計画」等の見直し ・「給食指導個人カルテ」の記入・まとめ ・次年度に向けての「食生活に関
	環境整備	・職員清掃 ・育苗管理、土作り ・教材提供準備 ・掃除・作業用具の購入 ・芝刈り	・職員作業 ・職員清掃 ・鉢物、プランターの定植 ・芝刈り	・職員作業 ・職員清掃 ・教材園、鉢物、プランターの管理 ・芝刈り	・職員作業 ・職員清掃 ・教材園、鉢物、プランターの管理 ・芝刈り	・職員清掃 ・苗の移植 ・掃除用具の点検 ・芝刈り	・職員作業 ・職員清掃 ・教材園、鉢物、プランターの管理 ・芝刈り	・職員作業 ・職員清掃 ・教材園、鉢物、プランターの管理 ・芝刈り	・教材園、鉢物、プランターの管理 ・育苗管理、土作り	・職員作業 ・職員清掃 ・教材園、鉢物、プランターの管理 ・育苗管理、土作り ・掃除・作業用具の点検・補充	・職員清掃 ・教材園、鉢物、プランターの管理 ・年間反省	・職員作業 ・職員清掃 ・育苗管理、土作り ・次年度の計画作成
	防火防災	・避難経路点検 ・避難訓練（火災）	・避難経路点検	・避難経路点検 ・防火防災対策委員会	・避難経路点検	・避難経路点検 ・防火防災対策委員会 ・避難訓練（津波）	・避難経路点検 ・職員研修	・避難経路点検 ・津波防災週間（11月5日前後）	・避難経路点検	・避難経路点検	・避難経路点検 ・年間反省	・避難経路点検 ・次年度の計画作成 ・防火防災対策委員会
	保健組織活動	・児童生徒専門委員会	・職員研修「救命救急法」	・学校保健委員会	・衛生委員会	・児童生徒専門委員会	・全校美化活動	・衛生委員会	・児童生徒専門委員会		・学校保健委員会 ・衛生委員会 ・児童生徒専門委員会	

## 性に関する指導

### 1 基本的な考え方

学校における「性に関する指導」は児童生徒の人格の完成と豊かな人間形成を究極の目的とする。人々の性に関する知識や価値観が多様化し、家庭環境や児童生徒を取り巻く社会環境も大きく変化している今日、人間の性を生理的側面、心理的側面、社会的側面などから総合的にとらえ、自ら考え、判断し意思決定の能力を身に付け、望ましい行動をとれるようにしていくことが必要である。そして生命尊重、人間尊重、男女平等の精神に基づく望ましい異性観をもつことができるように努めていくことが、社会の一員としての成長を促すことにつながっていく。

本校の児童生徒は、心身に何らかの障害や病気を抱えており、生活環境が限られ社会的な経験が乏しくなりがちである。そのような実態を理解し教育活動全般を通して指導にあたることが大切である。

### 2 目標

課程	小学部	中学部	高等部	
A・B課程	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体の仕組みや障害の状態について自分なりに理解し、自己の心身の発達について適切に対応できる能力や態度を育てる。</li> <li>○ 人間尊重、男女平等に基づいた対人関係を築くことができ、お互いを大切にしたり協力したりする態度を育てる。</li> <li>○ 家族や家庭の大切さや生命誕生のすばらしさを味わわせ生命尊重の精神を育てる。</li> <li>○ 社会における性の問題や性情報を認識し、社会の一員として責任ある行動をとろうとする意欲や態度を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 男性又は女性としての自己の認識を確かにさせる。</li> <li>○ 男性・女性又は人として互いを尊重したり、思いやりをもって接したりする態度を育む。</li> <li>○ 思春期にある自己の心身について理解し、二次性徴の中で生じる心身の問題に適切に対応できる能力や態度を育む。</li> <li>○ 家庭や様々な社会集団の一員として直面する性の諸問題を適切に判断し、対処する能力や資質を育てる。</li> </ul>	A課程	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 男女それぞれの特性と人間としての平等性を尊重する心情を養い、男女関係の望ましいあり方を考えさせ、互いに尊重しあう態度を養う。</li> <li>○ 生命の連続性、親子関係家族や家庭の大切さを認識させ、生命尊重の精神と敬愛、協力の態度を養う。</li> <li>○ 性情報の入手とその是非を判断する正しい知識が必要なことを理解し、自分の意志と正しい判断で行動することができる力を養う。</li> </ul>
C・D・E課程	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人とふれあうことの楽しさや喜びを味わわせ、自ら外界と関わろうとする意欲を育てる。</li> <li>○ 排せつやからだの清潔に関することなどや、日常生活の基本動作をスムーズに行うことができる。また介助を受けやすい姿勢や手足の動かし方を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人との関わりやふれあいの喜びや楽しさを味わわせ、自分の体を知ったり、他者や男女を意識したりすることができる。</li> <li>○ 排せつやからだの清潔に関することなど、日常生活の基本動作をスムーズに行うことができる。</li> <li>○ 二次性徴に伴う身体の変化を受容し、落ち着いて生活できる力を育てる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教育活動全体を通して、対人関係の拡大を図る。</li> <li>○ 二次性徴に伴う身体の変化を受容し、大人へと成長していく力を育てる。</li> </ul>

### 3 指導上の配慮事項

- ・ 個々の発達段階や心理面・家庭環境など、あらゆる角度から多面的に正しい異性観を理解させることを心がけ人権にも配慮しながら個に応じた指導にあたる。
- ・ 目標や指導内容など、教職員の共通理解はもちろんのこと、病棟関係者や保護者とも連携して指導にあたる。
- ・ 性教育に関する用語は、その意味を確かめ合って使用する。
- ・ 教育活動全体を通して、ふれあいを楽しみ、相手を思いやるなどの他者との関わり合いの場を多くもてるように心掛ける。
- ・ 児童生徒の実態を考慮し、個別指導と集団指導によって相互に見直しながら指導にあたる。
- ・ 児童生徒の身体的発達、精神的発達や性的成熟の個人差は多く、性に関する情報の質や量にも差がある。これらの個人差を配慮し、指導内容や指導方法を選択する。
- ・ 小学部高学年・中・高等部については、排せつ指導、更衣など、男女の配慮を行う。

## 性に関する指導年間題材一覧（全学部共通）

	題 材	指導形態	関連領域	指導内容・項目
通年指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排せつの仕方</li> <li>・衣服の着脱</li> <li>・身の回りの清潔</li> <li>・社会生活のマナー</li> </ul>	個に応じた	日常生活の指導 生活単元学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女のトイレの違い</li> <li>・排せつの仕方</li> <li>・トイレットペーパーの使い方</li> <li>・トイレを汚した場合の処置</li> <li>・衣服の着脱とたたみ方</li> <li>・清潔な衣服とからだ</li> <li>・手洗い，うがい，歯磨き，爪，耳垢などの手入れ</li> <li>・人前でして恥ずかしいこと</li> <li>・身だしなみ，おしゃれ</li> <li>・公共施設（トイレなど）の利用</li> </ul>
生理面	・「からだ」について知ろう	全体	日常生活の指導 生活単元学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の性別</li> <li>・からだの部位</li> <li>・からだの成長（男女差，個人差）</li> </ul>
	・男女のからだの違い	男女	日常生活の指導 生活単元学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次性徴における男女のからだの違い</li> <li>・男性（女性）としてのからだの成長</li> <li>・性器いじり（マナー，清潔）</li> <li>・精通，夢精のしくみ</li> <li>・月経のしくみ</li> <li>・月経指導（ナプキンの交換の仕方，後始末）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のからだの変化に気づこう</li> <li>・〇年生になる前に！</li> <li>・大人になるって？</li> </ul>	全体	日常生活の指導 生活単元学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間で変化したところは，どこだろう？（心とからだ）</li> <li>・これから変化するからだ</li> <li>・友だちとは</li> </ul>
心理面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな人ができたら（対異性）</li> <li>・思いやりの心（性別関係なく）</li> </ul>	全体 男女	特活（道徳）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男の子の気持ち，女の子の気持ち</li> <li>・異性とのかかわり</li> <li>・男女間でのマナー</li> </ul>
		全体	特活（道徳）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちの気持ち，自分の気持ち</li> <li>・思いやり（相手の気持ちを考える）</li> </ul>
社会面	・誘拐防止	全体	特活（道徳）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誘われないために（危険な場所や時間，きちんとした服装）</li> <li>・誘われたとき（断り方，逃げ方）</li> <li>・からだを触れられたときの断り方</li> </ul>
	・性的被害と加害	全体	特活（道徳）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人前でしてはいけないこと</li> </ul>
	・社会生活マナー	全体	特活（道徳）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人前でしてはいけないこと</li> <li>・身だしなみ</li> <li>・エチケット</li> </ul>
生活・衛生面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規則正しい生活をしよう（夏休み課題）</li> <li>・梅雨時の生活</li> <li>・身の回りの清潔</li> </ul>	全体 個別	日常生活の指導 生活単元学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活リズム表の活用など</li> <li>・梅雨時の特徴→衛生管理</li> <li>・手洗い，うがい，歯磨き，爪，耳垢など</li> <li>・入浴時の洗い方</li> </ul>
	・食事と健康	全体		<ul style="list-style-type: none"> <li>・偏食をすると生活習慣病になりやすい</li> <li>・バランスのとれた食事</li> </ul>
	・冬の健康について	全体	日常生活の指導 生活単元学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬になりやすい病気とその予防法</li> <li>・どうして病気になる</li> </ul>
	・傷害の防止	全体	生活単元学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心肺蘇生法，応急処置，事故，熱中症の予防など</li> </ul>
高等部のみ	・心の健康	全体	生活単元学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欲求と欲求不満</li> <li>・心と体の関係</li> <li>・ストレスへの対応</li> <li>・自己実現など</li> </ul>
	・社会生活と健康	全体	生活単元学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境汚染と健康など</li> </ul>
	・健康と環境	全体	生活単元学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の変化と適応のしくみ</li> <li>・働くことと健康など</li> </ul>

※ 指導形態については，当該学部の実態に応じて，全体・男女・習熟度等グループ指導を行う。

※ 教科（保健・家庭・理科等）における性に関する指導は，学校保健計画を参照する。



## 人権同和教育に関する指導

### 1 基本的な考え方

人権とは、「人々が生存と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」である。人権・同和教育は、「人々の人権を守り、他の人の人権を守ろうとする意識・意欲・態度」を育むことを目的とし、教育活動全般を通して行う総合的な教育である。そのためには、人権に関する理解を深め、人権感覚を養うことが必要である。

### 2 目標

- (1) 一人一人をかけがえのない存在として大切にすることで、自尊感情を育む。
- (2) 他者の存在に気づき、関わりを深め、より良い関係を築いていけるようにする。
- (3) 様々な人権問題について知識や理解を深め、差別や偏見を無くして豊かに生きていこうとする人権感覚を養う。

### 3 指導上の配慮事項

- ・ 個々の実態に応じた指導に努め、計画的に実施できるようにする。
- ・ 教職員自らが人権同和教育についての正しい認識と理解を深め、教育実践力を培う。
- ・ 本人や保護者の思いに寄り添いながら、児童生徒を理解することを心掛ける。
- ・ 教師や友達との関わりを通して社会性を培うとともに、互いを尊重できるように支援する。

# 人権同和教育全体計画

目指す児童生徒の姿（校訓）

『明るく（明朗）』『強く（克己）』『仲良く（友愛）』

- 法令など
- 日本国憲法
  - 障害者権利条約
  - 児童の権利に関する条約
  - 教育基本法
  - 学校教育法
  - 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律
  - 人権教育・啓発に関する基本計画
  - 障害者基本法
  - 障害者差別解消も共に生きる鹿児島づくり条例

学校教育目標  
病弱や肢体不自由のある児童生徒の命や人権を守り、教育的ニーズを的確に把握し、一人一人の発達段階や特性に応じた教育を行い、自立と社会参加に向けて心豊かに生きる児童生徒を育成する。

児童生徒の実態や願い  
保護者の願い

目指す姿（抜粋）  
児童生徒の命や人権を守り、教育的ニーズに応える学校  
児童生徒の命や人権を尊び、児童生徒の姿から学ぶことのできる教師

経営方針（抜粋）  
人間尊重の理念に基づき、人権教育の推進を通して、命の尊さ他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性の育成に努める。

本年度の重点事項（抜粋）  
人権尊重の理念に基づく教育を行う。

- 具体策
- 思いやりの心と人間尊重の精神について理解し、実践する力の育成
  - 道徳の時間の充実と教育活動全体を通じて行う道徳教育の推進
  - 児童生徒の人権を尊重した指導や、自尊感情を大切にした指導の推進

- 人権同和教育目標
- (1) 一人一人をかけがえない存在として大切にすることで、自尊感情を育む。(自尊感情)
  - (2) 他者の存在に気づき、関わりを深め、よりよい関係を築いていけるようにする。(コミュニケーション)
  - (3) 様々な人権問題について知識や理解を深め、差別や偏見を無くして豊かに生きようとする人権感覚を養う。(知識・理解)

各学部・各課程の目標			
	A・B課程	C・D課程	E課程
小学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童の意見や思いを大切にし、寄り添うようにする。(自尊感情)</li> <li>○ 友達や教師と触れ合う中で、互いの良さを認め合うことを通して、楽しい学校生活を送ることができるようにする。(自尊感情・コミュニケーション)</li> <li>○ 各教科等や道徳などの学習を通して、思いやりの心と相手を大切にする態度を育てる。(知識・理解)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習を通して、楽しい、やりたいという気持ちを持てるようにする。(自尊感情・コミュニケーション)</li> <li>○ 友達や教師と触れ合う中で、他者について知り、関わりを広げることができるようにする。(自尊感情・コミュニケーション)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 言葉掛けを行うことや、体調に配慮することにより、心地良く学習できるようにする。(自尊感情)</li> <li>○ 教師の存在を意識できるように、視線を合わせたり、体を触ったりして関わるようにする。(コミュニケーション)</li> </ul>
中学部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒の意見や思いを大切にし、寄り添うようにする。(自尊感情)</li> <li>○ 友達や教師と触れ合う中で、互いの良さを認め合うことを通して、自他共に大切にし、それを表現できるようにする。(コミュニケーション)</li> <li>○ 様々な人権問題について知ることを通して、思いやりの心と相手を大切にする態度を育てる。(知識・理解)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習を通して、楽しい、やりたいという気持ちを表現できるようにする。(自尊感情・コミュニケーション)</li> <li>○ 友達や教師と触れ合う中で、他者の良さに気づき、自ら関わろうとする態度を育てる。(自尊感情・コミュニケーション)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 言葉掛けを行うことや、体調に配慮することにより、心地良く学習できるようにする。(自尊感情)</li> <li>○ 教師や生徒自身の存在を意識できるように、視線を合わせたり、体を触ったりして関わるようにする。(コミュニケーション)</li> </ul>
高等部	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒の意見や思いを大切にし、寄り添うようにする。(自尊感情)</li> <li>○ 他者も自分と同じように尊い存在だと気づき、よりよい関係を築いていけるようにする。</li> <li>○ 様々な人権問題について知識や理解を深め、自分自身の問題としてどう行動すれば良いか考えることができるようにする。(知識・理解)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習を通して、楽しい、やりたいという気持ちを表情や発声、身体の動きで表現し、身近な人に伝えることができるようにする。(自尊感情・コミュニケーション)</li> <li>○ 友達や教師と触れ合う中で、自分や他者の良さに気づき、自ら関わろうとする態度を育む。(自尊感情・コミュニケーション)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 言葉掛けを行うことや、体調に配慮することにより、心地良く学習できるようにする。(自尊感情)</li> <li>○ 生徒と視線を合わせたり、体を触ったりして関わることで、視線の動きや瞬きなどで気持ちを表現できるようにする。(コミュニケーション)</li> </ul>

各教科等

道徳

特別活動

自立活動

総合的な学習(探究)の時間

# 人権同和教育指導計画

小学部

小学部目標		
(標準学級)	(重複学級)	(訪問学級)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集団の中で、お互いのよさを認め合い、共に支え合いながら望ましい人間関係を築くとともに、楽しい学校生活を送ることができるようにする。</li> <li>・ 各教科、道徳、特別活動、自立活動等の学習をとおして、思いやりの心と相手を大切にする態度を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明るく元気に学校生活を送ることができるようになる。</li> <li>・ 集団の中で、友達や先生と仲良く活動できるとともに、お互いのよさを認め合いながら、力強く生きようとする態度を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 明るく元気に病棟や学校での生活を送ることができるようになる。</li> <li>・ 友達や先生と仲良く活動できるとともに、お互いのよさを認め合いながらかわりをもって生きようとする態度を育てる。</li> </ul>



各教科道徳	特別活動	学校行事	人権同和教育全体に関わる全体の取組	家庭等との連携
<p>(標準学級)</p> 国語・社会・算数 ・理科・家庭・体育 ・音楽・図画工作・総合的な学習・道徳 ・自立活動 <p>(重複学級)</p> 国語・算数・音楽 ・体育・日常生活の指導・生活単元学習 ・自立活動 <p>(訪問学級)</p> 自立活動	<p>(標準学級)</p> ○ 学級活動を通して、健全な生活態度の育成を図る。 <p>(標準学級・重複学級・訪問学級)</p> ○ 児童生徒会活動・諸問題を協力して自主的に解決する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童生徒総会</li> <li>・ 専門(生活)委員会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 始業式</li> <li>・ 終業式</li> <li>・ 修了式</li> <li>・ 入学式</li> <li>・ 卒業式</li> <li>・ 運動会</li> <li>・ 学習発表会</li> <li>・ 一日遠足</li> <li>・ 修学旅行</li> <li>・ 身体計測</li> <li>・ 健康診断</li> <li>・ 口腔衛生指導</li> <li>・ 避難訓練</li> <li>・ 交通安全教室</li> <li>・ 地域ふれあい交流</li> </ul>	○ 校内人権週間 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人権標語</li> <li>・ ポスターの募集</li> <li>・ 掲示</li> <li>・ 思いやりを育てる人権教室</li> <li>・ ハンセン病問題を正しく理解する週間</li> <li>・ 北朝鮮人権侵害問題啓発週間</li> </ul>	◎ 家庭・地域の意識の向上を図る。 ○ 広報紙による情報提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校便り</li> <li>・ 学部・学級の通信</li> <li>・ PTA新聞 等</li> </ul> ○ 家庭・地域との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人権週間</li> <li>・ 人権月間</li> <li>・ ハンセン病問題を正しく理解する週間</li> <li>・ 北朝鮮人権侵害問題啓発週間 等</li> </ul> ○ 病棟との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援会議 等</li> </ul>

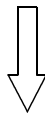
※ 人権同和教育は、全教育活動を通して行う。

※ 各教科・道徳・特別活動等では、教育課程に沿いながら、人権同和教育に関わる内容については、適宜指導する。

# 人権同和教育指導計画

中学部

中 学 部 目 標		
(標準学級)	(重複学級)	(訪問学級)
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校生活をとおして，生徒自身が自他の人権について考え，他人と協調し，他人を思いやる心や感動する心など豊かな人間性を育てる。</li> <li>生きる喜びや大切さを自覚させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>望ましい生活習慣を身につけ，心身の健康の増進を図りながら元気に学校生活を送ることができるようにする。</li> <li>学校生活をとおして，相手を思いやり，お互いのよさを認め合おうとする態度を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>たくさんの人とかかわり，さまざまな学習を通して，一人一人が元気に明るい豊かな学校生活をすごせるようにする。</li> </ul>



各教科道徳	特別活動	学校行事	人権同和教育全体に関わる全体の取組	家庭等との連携
<p>(標準学級)</p> 国語・社会・数学 ・理科・技術家庭・保健体育・外国語・音楽・美術・道徳・自立活動	<p>(標準学級)</p> ○ 学級活動を通して，健全な生活態度の育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>始業式</li> <li>終業式</li> <li>修了式</li> <li>入学式</li> <li>卒業式</li> <li>運動会</li> <li>学習発表会</li> <li>一日遠足</li> <li>修学旅行</li> <li>身体計測</li> <li>健康診断</li> <li>口腔衛生指導</li> <li>避難訓練</li> <li>交通安全教室</li> <li>地域ふれあい交流</li> </ul>	○ 校内人権週間 <ul style="list-style-type: none"> <li>人権標語</li> <li>ポスターの募集 掲示</li> <li>思いやりを育てる人権教室</li> <li>ハンセン病問題を正しく理解する週間</li> <li>北朝鮮人権侵害問題啓発週間</li> </ul>	◎ 家庭・地域の意識の向上を図る。 ○ 広報紙による情報提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>学校便り</li> <li>学部・学級の通信</li> <li>P T A新聞</li> </ul> 等 ○ 家庭・地域との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>人権週間</li> <li>人権月間</li> <li>ハンセン病問題を正しく理解する週間</li> <li>北朝鮮人権侵害問題啓発週間</li> </ul> 等 ○ 病棟との連携 <ul style="list-style-type: none"> <li>支援会議</li> </ul> 等
<p>(重複学級)</p> 国語・数学・音楽 ・体育・日常生活の指導・生活単元学習 ・自立活動・作業学習	<p>(標準学級・重複学級・訪問学級)</p> ○ 児童生徒会活動・諸問題を協力して自主的に解決する。			
<p>(訪問学級)</p> 自立活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒総会</li> <li>専門（生活）委員会</li> </ul>			

※ 人権同和教育は，全教育活動を通して行う。

※ 各教科・道徳・特別活動等では，教育課程に沿いながら，人権同和教育に関わる内容については，適宜指導する。

# 人権同和教育指導計画

高等部

高等部目標		
(標準学級)	(重複学級)	(訪問学級)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集団生活の中で、他人と自分の価値観や思考等の違いを知り他人を尊重する態度を養うとともに、信頼関係を築き、協調性をもって学校生活を送ることができるようにする。</li> <li>・ 各教科、特別活動をとおして、自身の抱える障害について理解を深め、地域社会の中で、協力して生きていくための役割を自覚した生活を送ろうとする態度を育てる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達や教師とのかかわりの中で、互いに認め合う態度を養うとともに、協調性と思いやりの心をもって、学校生活を送ることができるようにする。</li> <li>・ 社会生活において、助け合い協力して、生き生きと過ごそうとする態度を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友だちや教師とのかかわりの中で、お互いを認め合う態度を養うとともに、協調性と思いやりの心をもって、病棟生活や学校生活を送ることができるようにする。</li> <li>・ 病棟生活や社会生活において助け合い、協力して、生き生きと過ごそうとする態度を育てる</li> </ul>



各教科道徳	特別活動	学校行事	人権同和教育全体に関わる全体の取組	家庭等との連携
<p>(標準学級)</p> 国語・地理・歴史・公民・数学・理科・情報・家庭・保健体育・外国語・音楽・芸術・自立活動	<p>(標準学級)</p> ○ 学級活動を通して、健全な生活態度の育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 始業式</li> <li>・ 終業式</li> <li>・ 修了式</li> <li>・ 入学式</li> <li>・ 卒業式</li> <li>・ 運動会</li> <li>・ 学習発表会</li> <li>・ 一日遠足</li> <li>・ 修学旅行</li> <li>・ 身体計測</li> <li>・ 健康診断</li> <li>・ 口腔衛生指導</li> <li>・ 避難訓練</li> <li>・ 交通安全教室</li> <li>・ 地域ふれあい交流</li> </ul>	<p>人権同和教育全体に関わる全体の取組</p> ○ 校内人権週間 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人権標語</li> <li>・ ポスターの募集</li> <li>・ 掲示</li> <li>・ 思いやりを育てる人権教室</li> <li>・ ハンセン病問題を正しく理解する週間</li> <li>・ 北朝鮮人権侵害問題啓発週間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 家庭・地域の意識の向上を図る。</li> <li>○ 広報紙による情報提供               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校便り</li> <li>・ 学部・学級の通信</li> <li>・ P T A新聞</li> </ul>               等</li> <li>○ 家庭・地域との連携               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人権週間</li> <li>・ 人権月間</li> <li>・ ハンセン病問題を正しく理解する週間</li> <li>・ 北朝鮮人権侵害問題啓発週間</li> </ul>               等</li> <li>○ 病棟との連携               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援会議</li> </ul>               等</li> </ul>
<p>(重複学級)</p> 国語・数学・音楽・美術・家庭・体育・日常生活の指導・生活単元学習・自立活動	<p>(標準学級・重複学級・訪問学級)</p> ○ 児童生徒会活動・諸問題を協力して自主的に解決する。			
<p>(訪問学級)</p> 自立活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童生徒総会</li> <li>・ 専門（生活）委員会</li> </ul>			

※ 人権同和教育は、全教育活動を通して行う。

※ 各教科・道徳・特別活動等では、教育課程に沿いながら、人権同和教育に関わる内容については、適宜指導する。

## 人権同和教育に関する内容 自立活動（例）

自立活動については、個別の指導計画をもとに、人権・同和教育に関連する内容を関連づけて指導していく。

自立活動の内容の項目ごとに、人権同和教育に関連する内容について指導の参考例とする。

内 容	人権同和教育に関するねらい
健康の保持	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分や友達の病気や障害についての知識と理解を深める。</li> <li>・ 明るく元気に生活しようとする意欲を持つ。</li> <li>・ 生命の尊重を図る。</li> <li>・ 自他の人権の尊重を図る。</li> </ul>
心理的な安定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己実現を図る。</li> <li>・ 基本的人権の尊重を図る。</li> </ul>
人間関係の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相手を大切にする気持ちの育成を図る。</li> <li>・ 友達と仲よく活動できる。</li> <li>・ 多くの人とのかかわりを通して、思いやりの心を養う。</li> <li>・ 望ましい人間関係を築く。</li> <li>・ 集団生活や社会生活において自分の役割を考えることができる。</li> </ul>
環境の把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 望ましい生活習慣の育成をする。</li> </ul>
身体の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己の願いの実現を図る。</li> </ul>
コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ お互いのよさを理解する。</li> <li>・ 自分から進んでかかわることができる。</li> <li>・ 多くの人との関わりを通して、思いやりの心を養う。</li> <li>・ 望ましい人間関係を築く。</li> </ul>

# 居住地校交流について

## 1 本校児童生徒の実態及び居住地校交流の意義について

本校には、様々な障害のある児童生徒が県内各地から入学し、在籍している。病院に入院しながら、学校生活を送っている児童生徒はもとより、自宅から通学している児童生徒でも、地域の学校とのつながりをもちにくいのが実態である。居住地校交流を実施することにより、保護者が同行し、自分が住んでいる地域の小・中学校で、友達と触れ合い、学習したり、遊んだりすることを通して、本校では学び得ないことを経験し、体感することは、本校児童生徒にとって貴重な機会になると考える。

居住地校交流で得られた地域とのつながりは、その後の児童生徒の生活にも生かされるものであり、様々な人たちとコミュニケーションをとることで、豊かな人間関係を築く素地を育むことができるものと考えている。

## 2 居住地校交流のねらいについて

- ・ 本人及び保護者の居住地の学校へ登校し、交流及び共同学習を行うことで、同世代の児童生徒と関わり合う積極的な態度を養うとともに、生活経験を広げ、社会性や豊かな人間性を育む。
- ・ 児童生徒が、現在の学校生活や卒業後の日常生活等において、本人及び保護者の居住地で社会参加していくために必要な人間関係を広げる一つの契機となるようにする。

## 3 居住地校交流実施上の留意点について

### 〈 実施上の留意点 〉

- ・ 居住地校交流は、教育的ニーズに基づき、本人と保護者が積極的に関わって実施される交流及び共同学習である。
- ・ 居住地校交流の実施にあたっては、校内での教育活動を優先することとする。
- ・ 相手校との連絡調整、依頼文書の作成等は係で行い、発送及び実施日や具体的な内容等についての相手校との話し合い、保護者への対応は担任で行う。
- ・ 交流の相手校は、原則的に居住地の校区内にある小・中学校とするが、特別な事情がある場合には、近隣の小・中学校に、交流の依頼をすることもある。
- ・ 時数のカウントの仕方については、交流校で実施された内容により、教科・領域等で算定する。また、実施した場合は時数に関係なく、1日出席の扱いとなる。(早退、遅刻なし)
- ・ 居住地校交流の実施にあたっては、校内の行事等を考慮して「居住地校交流実施期間」を原則として10月上旬から11月中旬に設定し、相手校や保護者との話し合いをもとに期日を決定する。
- ・ 居住地校交流の回数は基本的に年度に1回とする。但し、保護者の希望により実施回数を増やしたい場合は、校内行事、対象児童生徒の実態を考慮し、相手校や保護者との話し合いをもとに、無理のない回数で実施する。年度に複数回の交流を実施する場合、担任、もしくは他の教員が引率をする。

### 〈 交流内容についての留意点 〉

- ・ 本校及び相手校におけるそれぞれの交流教育のねらいや意義について、教師の共通理解を図る。
- ・ 本校及び相手校の児童生徒の実態について、共通理解を図る。
- ・ 本校及び相手校の教育の実際や様子について、動画や写真等を利用して事前指導や事後指導を行う。
- ・ 児童生徒の負担加重にならないように、活動内容について十分に検討する。





# 交流及び共同学習

## 1 基本的な考え方

- (1) 地域の学校や人々と活動を共にし、児童生徒の経験を広め、社会性を養い、豊かな人間性を育む機会とする。
- (2) 触れ合いを通して豊かな人間性を育む交流の側面と、教科等のねらいの達成や目的とする共同学習の側面を踏まえて、計画的に推進していく。

## 2 目標

### (1) 小学部

#### ア A・B課程

- (ア) 地域の学校の児童との交流及び共同学習を通して、相互理解を深めるとともに、生活経験を広げ、社会性や豊かな人間性を育む。
- (イ) 他校との交流及び共同学習を通して、コミュニケーション能力の拡大を図る。

#### イ C・D課程

- (ア) 地域の学校の児童との触れ合いを通して、社会性や豊かな人間性を育む。
- (イ) 他校との交流及び共同学習を通して、社会経験の拡大を図る。(C課程)

### (2) 中学部

#### ア A・B課程

- (ア) 地域の学校の生徒との交流及び共同学習を通して、相互理解を深めるとともに、生活経験や学習経験の拡大を図り、社会性や豊かな人間性を育む。
- (イ) 他校との交流及び共同学習を通して、コミュニケーション能力や社会経験の拡大を図る。

#### イ C・D課程

- (ア) 地域の学校の生徒との体験的な活動を通して、社会性や豊かな人間性を育む。
- (イ) 他校との交流及び共同学習を通して、コミュニケーション能力や社会経験の拡大を図る。(C課程)

### (3) 高等部

#### ア A課程

- (ア) 交流及び共同学習を通して、相互理解を深めるとともに、生活経験や学

習経験の拡充を図り，社会性や豊かな人間性を育む。

(イ) 自ら好ましい人間関係を築こうとする態度や積極性を養う。

#### イ C・D課程

(ア) 地域の学校の生徒との体験的な活動を通して，視野を広げ，社会性や豊かな人間性を育む。

(イ) 好ましい人間関係を築こうとする態度や積極性を養う。(C課程)

### 3 実際

#### (1) 形態

##### ア 直接交流

(ア) 学校間交流

(イ) 居住地校交流〈別紙〉

(ウ) 地域との交流

##### イ 間接交流

(ア) 文通や作品交換，コンピュータや情報通信ネットワーク等を活用した交流

(イ) 動画や写真による交流

(ウ) 校外での作品展

#### (2) 指導内容

##### ア 事前指導

(ア) 生活単元学習，総合的な学習の時間，総合的な探究の時間，学級活動で事前指導を行う。

(イ) 児童生徒の学校生活や学習中の様子等を，動画や写真等を利用して交流先に知らせる。

##### イ 事後指導

(ア) 作文，絵，手紙，ビデオレター等の交換により，お互いの交流をより深める。

### 4 指導上の配慮事項

- ・ 交流先と連絡を取り合い，指導計画に基づく内容や方法を事前に検討する。
- ・ 児童生徒の実態を踏まえ，体調面や心理面等への配慮を行う。
- ・ 交流及び共同学習の意義や価値を十分に踏まえた学習内容になるように配慮する。

## 食に関する指導

### 1 基本的な考え方

食育基本法（平成17年7月施行）の前文では、「子どもたちが豊かな人間性をはぐくみ、生きる力を身に付けていくためには、何よりも『食』が重要である」「食育を生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきものと位置付ける」と食育を推進することが求められている。また、同じく食育基本法の11条第1項では、「教育並びに保育、介護その他の社会福祉、医療及び保健（以下「教育等」という。）に関する職務に従事する者並びに教育等に関する関係機関及び関係団体（以下「教育関係者等」という。）は、食に関する関心及び理解の増進に果たすべき重要な役割にかんがみ、基本理念にのっとり、あらゆる機会とあらゆる場所を利用して、積極的に食育を推進するよう努めるとともに、他の者の行う食育の推進に関する活動に協力するよう努めるものとする。」と規定し、子供に対する食育の推進のために教育関係者の取り組みを強く期待している。

本校においては、個別の指導計画を基にしながら、各教科領域等において、教育活動全体を通して食に関する指導を行っていく。例えば、日常生活の指導において朝の会で献立発表、生活単元学習や家庭科において調理実習、生活単元学習や社会科においての行事と食の関係の学習、特別活動において給食委員会の活動などが挙げられる。中でも本校の児童生徒の実態から、自立活動との関連は重視すべき視点である。食べ物を見たり臭いを嗅いだりする学習をとおして、保有する感覚（視覚、聴覚、触覚、嗅覚、固有覚、前庭覚など）を十分に活用できるようにしたり、認知や行動の手がかりとなる概念の形成につとめたりする。また、摂食時または注入時に適切や姿勢を取ったり、補助具などを使いこなせたりするように指導する必要がある。

「給食指導」は、食に関する指導の「給食の時間における食に関する指導」の中に含まれ、「給食の準備から片付けまでの一連の指導の中で、正しい手洗い、配膳方法、食器の並べ方、箸の使い方、食事のマナーなどを体得させる場面」である。正しい食事の取り方や望ましい食習慣の習慣化を図ったり、教科等で得た知識を具体的に確認し深めたりして学習効果を高めるなど献立を教材として取り扱うことや、一緒に楽しく食事を通して好ましい人間関係を育てること、食べ物を大切にすることや感謝の心を培うことができると考えられる。また、児童生徒一人一人の実態を把握し、個に応じた対応をすることが、児童生徒の健康管理に繋がり、学校生活を豊かにすることもできると考えられる指導である。

### 2 目標…次頁参照

### 3 指導上の配慮事項

- ・ 安全や衛生には特に配慮し、関係部署との連携を図りながら、環境整備や衛生管理の徹底に努める。
- ・ 家庭との連携を密にし、望ましい食習慣の形成、偏食の改善や食事中の体勢、適切な食事の摂取など将来を見通した食事指導に取り組む。
- ・ 食事の指導においては、家庭との連携を十分に図るとともに、必要に応じて外部専門家による指導・助言を得るようにする。

**「食に関する指導の手引き」(文部科学省発行)より【食に関する指導の目標】抜粋**

- ・ 食事の重要性や栄養やバランス，食文化等についての理解を図り，健康で健全な食生活に関する知識や技能を身に付けるようにする。(知識・技能)
- ・ 食生活や食の選択について，正しい知識・技能に基づき，自ら管理したり判断したりできる能力を養う(思考力・判断力表現力等)
- ・ 主体的に，自他の健康な食生活を実現しようとし，食や食文化，食料の生産等に関わる人々に対して感謝する心を育み，食事のマナーを通じた人間形成能力を養う。(学びに向かう力・人間性等)

	小学部	中学部	高等部
小・中 A B 課程 高 A 課程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校給食を通して食事の準備や後片付けの習慣を身に付けたり，バランスのとれた栄養のとり方を学んだりするなどし，日常生活に生かすことができるようにする。(知・技)</li> <li>・ 食べ物に興味をもったり，健康に良い食事のとり方を考えたりしながら，自分の体を健康に保つための判断ができるようにする。(思・判・表)</li> <li>・ 食についての理解を深めたり，食べ物を大事にしたり感謝したりしながら，望ましい食習慣や食生活を実現しようとする態度を養う。(学・人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校給食や日常生活の食事を通して，食事の重要性，栄養バランス，健康に生活するために必要な食生活について理解し日常生活に生かすことができるようにする。(知・技)</li> <li>・ 自分の健康を意識した食生活や食の選択，判断をすることができるようにする。(思・判・表)</li> <li>・ 健康的な食生活の実現や，食や食文化へ興味関心を持ち，食に関わる人への感謝の気持ちや正しいマナーを身につけ食事を通じた人間形成能力を養う。(学・人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活の中で食事が果たす役割，食品の栄養的な役割について理解し，基礎的な調理を行うなど日常生活に生かすことができるようにする。(知・技)</li> <li>・ 健康に良い食習慣を考え工夫したり，安全な食品を選んだりすることにより，自らの体を健康に保つことができるようにする。(思・判・表)</li> <li>・ 食や食文化を尊重したり，食べ物を大事にしたり感謝したりする心を育み，食事のマナーを通じた人間形成能力を養うようにする。(学・人)</li> </ul>
C D E 課程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 偏食の改善や好ましい時間での食事など，望ましい食事の習慣を身に付けられるようにする。(知・技)</li> <li>・ 食べ物に興味をもち，健康を意識しながら食事をとることができるようにする。(思・判・表)</li> <li>・ 教師や友達と一緒に食材の味，彩り，香り等を味わったり，食に関わる方との触れあいを通じて，給食に携わる人々への感謝の気持ちを育んだりすることができるようにする。(学・人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食体験を広げ，望ましい食習慣を身につけることができるようにする。(知・技)</li> <li>・ 食べ物や栄養素について興味関心を持ち，健康な食生活を実現できるようにする。(思・判・表)</li> <li>・ 友達や教師と一緒に食に関する事を体験したり，食に関わる方と触れあったりすることで感謝する気持ちを育んだりすることができるようにする。(学・人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食品や食事の取り方について知ることができるようにする。(知・技)</li> <li>・ 正しい食生活の形成を通じて，自らの体を健康に保つことができるようにする。(思・判・表)</li> <li>・ 友達や教師と一緒に会食したり，栄養教諭や調理員の方々と触れ合ったりすることで，人間的な触れあいを高めたり，感謝する気持ちを持つことができるようにする。(学・人)</li> </ul>

# 食に関する指導全体計画

## 学校教育目標

病弱や肢体不自由のある児童生徒の命や人権を守り、教育的ニーズを的確に把握し、一人一人の発達段階や特性に応じた教育を行い、自立と社会参加に向けて心豊かに生きる児童生徒を育成する。

## 食に関する指導の目標

- ・ 食事の重要性や栄養やバランス、食文化等についての理解を図り、健康で健全な食生活に関する知識や技能を身に付けるようにする。(知識・技能)
- ・ 食生活や食の選択について、正しい知識・技能に基づき、自ら管理したり判断したりできる能力を養う(思考力・判断力表現力等)
- ・ 主体的に、自他の健康な食生活を実現しようとし、食や食文化、食料の生産等に関わる人々に対して感謝する心を育み、食事のマナーを通じた人間形成能力を養う。(学びに向かう力・人間性等)

## めざす児童生徒像

- 明るく 感謝の心を持って、きちんと挨拶ができる礼儀正しい児童生徒
- 強く 好き嫌いなく何でも食べて、丈夫な体を作ろうと取り組むことができる児童生徒
- 仲よく 相手のことも考えながら、みんなと楽しく食事のできる児童生徒

## 児童生徒の実態

- ・ 食事マナーの未定着
- ・ 噛まない、噛めない、咀嚼力の不足や未発達  
(食物アレルギー対応、口腔機能の発達段階に応じた食形態の工夫、こだわり食対応等)
- ・ 生活体験の不足
- ・ 基本的な生活習慣の未定着
- ・ 多様な食品や料理の経験不足
- ・ 偏った食事
- ・ 野菜嫌い
- ・ 身体の変形や拘縮による食事姿勢の要考慮
- ・ 経管栄養

## 食生活の傾向

- ・ 栄養バランスの乱れ(脂質の過剰摂取)
- ・ 食嗜好の変化(和→洋)
- ・ 伝統的な食習慣の衰退
- ・ 不規則な食生活
- ・ 生活習慣病の低年齢化

## 家庭の実態

- ・ 家族団らんの減少
- ・ 加工食品・冷凍食品の多用
- ・ 子どもの個食、孤食の増加
- ・ 朝食の欠食・簡素化
- ・ 食生活の家庭間の格差の広がり

社会的な食事環境

## (食による心の健康)

- ・ 心と楽しい食事
- ・ 好ましい人間関係
- ・ 感謝の心
- ・ 感性や情操

## (食による体の健康)

- ・ ねばり強く取り組む体力作り
- ・ 主体的に取り組む気力作り
- ・ 個に応じた丈夫な体作り

各教科・道徳との関連		特別活動等との関連		給食指導		家庭・地域連携	
◎食に関する認識を深める。				◎正しい食事の在り方や望ましい食習慣の形成に努め、好ましい人間関係の育成を図る。 (標準学級)		◎家庭・地域の理解と協力を深める。 ◎家庭における食生活に対する関心を高める。	
小学部	(A・B課程) 国語, 理科, 社会, 家庭保健体育, 総合的な学習 外国語活動	学級活動	○健全な生活態度の育成を図る。 ・心と体の健康 ・夏・冬休みの生活 ・風邪の予防 ・作文, ポスター作り	・会食を通して得られる友達や教師との人間的な触れ合いの育成		○広報誌による情報提供 ・献立表 ・食育便り ・保健便り ・学校便り ・PTA新聞 ・学級・学部通信	
	(C・D課程) 日常生活に関する指導 生活単元学習 自立活動		○諸問題を協力して自発的, 自主的に解決する。 (児童生徒総会)	・栄養教諭や調理員の方への感謝の気持ちの育成		○家庭での取組 ・学校保健委員会 ・給食試食会 ・学期始めの食事介助の協力	
中学部	(A・B課程) 技術家庭, 保健体育 総合的な学習	児童生徒会活動	・給食に関する諸問題の解決	・食事の準備や後片付けの習慣の育成		○地域との連携 ・学校給食週間への協力 ・地産地消	
	(C・D課程) 日常生活に関する指導 生活単元学習 作業学習 自立活動 総合的な学習		・健康や安全に関する諸問題の解決 (専門(生活)委員会)	・協力することの大切さや責任感の育成		○病院との連携 ・遠足, 校外学習, 修学旅行の事前の情報提供 ・病棟行事への協力	
高等部	(A課程) 社会, 家庭, 保健体育	学校行事	・食前食後の挨拶 ・手洗い, 容儀検査 ・ポスター作り	・食の安全や衛生に関する興味・関心の育成と日常生活への活用			
	(C・D課程) 日常生活に関する指導 生活単元学習 作業学習 自立活動 総合的な学習の時間		・食に関する図書の紹介	・自己の食生活における食の安全や衛生の確認と卒業後の生活への活用 (重複学級)		◎個に応じた指導 ・給食個人カルテ, 摂食指導シートの作成・情報の共有化 ・栄養相談 (肥満, るいそう, 食物アレルギー, 口腔機能, 摂食機能, 少食, 偏食等)	

# 食に関する年間指導計画

○ 給食の時間における指導、特別活動における指導

		小学部	中学部	高等部
給食の時間における指導	A B 課程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の重要性、喜び、楽しさの理解</li> <li>・心身の成長や健康の保持増進のために必要な望ましい栄養や食事のとり方</li> <li>・食事のマナーに関する知識の習得</li> <li>・食事を通じた人間関係形成</li> <li>・食文化の拡大と偏食の改善</li> <li>・栄養教諭や調理員への感謝の気持ちと態度の育成</li> <li>・食事の準備や後片付け等、思いやりや協力する心の育成</li> <li>・衛生的（手洗い、身支度、歯磨き）な食習慣の定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バランスのとれた栄養の取り方や食事のマナーに関する知識の習得と正しい食習慣の形成</li> <li>・会食を通して得られる友達や教師との人間的な触れ合いの育成</li> <li>・栄養教諭や調理員の方への感謝の気持ちの育成</li> <li>・食事の準備や後片付けの習慣及び協力することの大切さや責任感の育成</li> <li>・食の安全や衛生に関する興味・関心の育成と日常生活への活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A課程</li> <li>・バランスのとれた栄養の取り方や食事のマナーに関する知識の習得と好ましい食習慣の形成</li> <li>・会食を通して得られる友達や教師との人間的な触れ合いの育成</li> <li>・栄養教諭や調理員の方への感謝の気持ちの育成</li> <li>・食事の準備や後片付けの習慣及び責任感や他人に対する思いやりの育成</li> <li>・自己の食生活における食の安全や衛生の確認と卒業後の生活への活用</li> </ul>
	C 課程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の喜び、楽しさの理解</li> <li>・食事のマナーに関する技能の向上</li> <li>・食文化の拡大と偏食の改善</li> <li>・食事の準備や後片付け等、協力する態度の育成</li> <li>・栄養教諭や調理員への感謝の気持ちと態度の育成</li> <li>・衛生的（手洗い、身支度、歯磨き）な食習慣の形成</li> <li>・食事の指導における家庭との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バランスのとれた栄養の摂取、偏食の防止、食事時間の設定等による正しい食習慣の育成</li> <li>・友達や教師との会食による人間的な触れ合いの形成</li> <li>・栄養教諭や調理員との触れ合いによる感謝の気持ちと態度の育成</li> <li>・食事の指導における家庭との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バランスのとれた栄養の摂取、偏食の防止、食事時間の設定等による正しい食習慣の育成</li> <li>・友達や教師と一緒に会食による人間的な形成</li> <li>・栄養教諭や調理員との触れ合いによる感謝の気持ちと態度の育成</li> <li>・食事の体勢や食事の摂取等に関する十分な家庭との連携と将来を見通した食事指導の実施</li> </ul>
	D 課程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事のマナーに関する技能の向上</li> <li>・食文化の拡大と偏食の改善</li> <li>・栄養教諭や調理員との触れ合い</li> <li>・衛生的（手洗い、身支度、歯磨き）な食習慣の受容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バランスのとれた栄養の摂取、偏食の防止、食事時間の設定等による正しい食事の習慣の育成</li> <li>・友達や教師と一緒に会食による人間的な触れ合いの形成</li> <li>・栄養教諭や調理員の方々との触れ合いによる感謝の気持ちの育成</li> <li>・食事の指導における十分な家庭との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バランスのとれた栄養の摂取、偏食の防止、食事時間の設定等による正しい食習慣の育成</li> <li>・友達や教師との会食による人間的な触れ合いの形成</li> <li>・栄養教諭や調理員との触れ合いによる感謝の気持ちの育成</li> <li>・食事の体勢や食事の摂取等に関する十分な家庭との連携と将来を見通した食事指導の実施</li> </ul>
特別活動における指導	小 ・高 ・中 ・部 A A B C C D D E E 課程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一日遠足や校外学習における昼食</li> <li>・修学旅行での食事</li> <li>・口腔衛生指導</li> <li>・定期健康診断</li> <li>・身体計測</li> <li>・衛生週間</li> <li>・学校給食週間</li> </ul>		

給食指導年間計画

月	目標	指導事項	指導内容			行事食等 行事(献立等)	取り入れたい旬の食材等			教材等と関連する 食品・献立	献立作成のポイント
			一段階(D課程)	二段階(C課程)	三段階(AB課程)		野菜等	果物	魚介		
4	給食の決まりについて知ろう	・食堂でのきまり ・食事のマナー	・教師と一緒に、食前に手を洗う(ふく) ・自分の座席がわかる ・教師と一緒に、食前・食後のあいさつのしぐさをする ・教師と一緒に後始末をする	・一人で食前に手を洗う ・自分の座席で、行儀良く待つ ・食前・食後のあいさつをする ・一人で後始末をする	・給食のきまりを守り、楽しく食事ができる	入学・進級祝い	木の芽、山菜 新じゃが、スナップえんどう 新キャベツ 孟宗竹、空豆	いちご 日向夏 清見みかん	さわら あさり 青のり	<b>小学部・A・B課程</b> 野菜(1・2年) かまぼこ(3年) ほうれん草(3年) 野菜サラダ、ごはん、みそ汁(5年) 卵料理他(6年)	・新入生に期待感を持たせ、春らしい彩りを考慮した献立
5	好き嫌いをしないで食べよう	・偏食 ・食事の量	・好ききらいなく食べる ・一日3食を規則正しく食べる	・主食・主菜・副菜・牛乳を好ききらいなく食べる ・一日3食を規則正しく、しっかり食べる	・食べ物の働きを知り、バランスよく食べる ・偏食による栄養素の欠乏によって起こる病気を知る	こどもの日 セレクト給食	グリーンピース、茶 絹さや、新たまねぎ こきん竹、にんじん トマト、じゃがいも、アスパラ 大名竹	紅甘夏 びわ メロン ラビットすいか	かつお あじ ひじき	<b>中学部・A・B課程</b> ハンバーグ 魚のムニエル	・春を感じられる彩りの美しい献立 ・成長期に特に必要な食品の使用
6	よくかんで食べよう	・「かむ」ことの大切さ ・暑さに負けない食事のとり方	・正しい姿勢で、よくかんで食べる ・朝食をきちんと食べる	・適度な速さで、よくかんで食べる ・一日3食を残さず食べることができる	・よくかむ習慣を身につける ・望ましい食事のとり方と、おやつとり方について知る	食育月間 歯の衛生週間(かむこと) セレクト給食	ピーマン らっきよ、きゅうり いんげん、とうもろこし おくら、にがうり 唐竹、大名竹	メロン、すいか パッションフルーツ	きびなご とびうお	<b>高等部・A課程</b> 西洋料理 日本料理 中国料理 郷土料理	・「かむ」ことを意識させる工夫
7	衛生に気をつけよう	・手洗い、うがいの習慣化 ・梅雨時の衛生	・正しい手洗い・うがいができる	・食べ物や食器は清潔に取り扱う ・梅雨時の食べ物は、腐りやすいことを知る	・手洗いの必要性について知る ・梅雨時の食べ物の扱い方や衛生について知る	七夕 土用の丑の日 セレクト給食	かぼちゃ ピーマン なす、にら 枝豆、おくら きゅうり、梅干し トマト にがうり	ブルーベリー メロン パイナップル すいか オレンジ	あなご しいら たこ うなぎ きびなご	<b>小学部・C・D課程</b> かき氷、そうめん  <b>中学部・C・D課程</b> ケーキ <b>高等部・C・D課程</b> そうめん	・食中毒防止のため、食品の選択と調理方法 ・食欲を増進させ、涼しさを感じさせる献立
8											
9	食事のマナーを身につけよう	・食前食後のあいさつ ・良い姿勢 ・食器の使い方 ・良い食べ方	・はしやスプーンを使ってこぼさないように食べる ・主食・副食・牛乳を交互に食べる	・はしやスプーンを使ってこぼさないように食べる ・主食・主菜・副菜・牛乳を交互に食べる	・はしやスプーンを正しく持って食べる ・主食・副食・牛乳を取り合わせて食べる ・楽しく、気持ちよい給食の場をつくる	十五夜 セレクト給食	なす、冬瓜、生ピーナッツ といもから モロヘイヤ にがうり さといも さつまいも、早期新米	梨 巨峰 青みかん	さば かつお		・食欲を増進させ、夏バテを防止させる献立 ・家庭で取り入れにくい食品や料理の取り入れ
10	旬の食べ物について知ろう	・食品名 ・献立名	・食べ物に旬があることを知る	・旬の食べ物の名前がわかる	・旬の食べ物の産地や栄養について調べる	目の愛護デー セレクト給食 ハロウィン	くり、むかご さつまいも きのこ、新ごぼう 新米	早生みかん 柿、りんご 梨	さば さんま 秋太郎 (ばしょうかじき)		・秋を感じさせる献立
11	感謝して食事をしよう	・給食に関わる人を知る ・感謝の心 ・食の大切さ、命の大切さ ・食品の生産と流通	・給食に関係する人々を知る ・食べ物を粗末にしない	・給食に関係する人々に感謝の気持ちを持つ ・食べ物を粗末にしない	・給食に関係する人々の苦労について知る ・食べ物の命と自分の命について理解する	セレクト給食	新ごぼう さつまいも じゃがいも	温州みかん りんご 柿	さば 秋さけ いわし	<b>高等部・A課程</b> 西洋料理・日本料理 中国料理・郷土料理 小中C/D課程 やきいもなど	・旬の食品を多く取り入れた献立
12	食べ物と栄養について考えよう	・食品への興味・関心 ・バランスの良い食事	・給食には、いろいろな食品が使われていることを知る	・給食には、なぜいろいろな食品が使われているのかを知る	・食べ物を偏らないで食べることが、からだにとって大切なことを知る	冬至(かぼちゃ) クリスマス カリフラワー セレクト給食	ほうれん草、だいこん ブロッコリー、白菜 カリフラワー、春菊、ゆず かぶ	ボンカン、小みかん 柿、りんご 温州みかん 早生(はやか)	さば 鮭	<b>中・高C・D課程</b> (クリスマスケーキ)	・風邪を予防する献立 ・旬の食品を多く取り入れ、体を温める献立
1	学校給食について知ろう	・給食の意義 ・食文化 ・地域の特産物、郷土料理	・自分の住んでいる地域でとれる産物を知る	・給食の意義について知る ・鹿児島県の代表的な産物を知る	・給食の意義について知る ・食の文化や歴史について知る	七草、鏡開き 鹿児島をまるごと味わう 学校給食(郷土料理) 調理員さんに感謝する会 セレクト給食	桜島だいこん、白菜 青梗菜、深ねぎ、水菜 ブロッコリー、カリフラワー	スイートスプリング 温州みかん きんかん	ぶり		・地場産物や郷土料理を多く取り入れた「鹿児島をまるごと味わう」工夫
2	マナーに気をつけて給食を食べよう	・食事のマナー	・楽しい雰囲気ですぐ食べることができる	・楽しい雰囲気ですぐ食べることができる	・まわりの人に不快感を与えないように、食事ができる	節分(節分豆) 聖バレンタインデー セレクト給食	白菜、だいこん ブロッコリー 新ごぼう	たんかん サワーポメロ いよかん	ぶり	<b>中C・D課程</b> (節分豆、チョコ) <b>高C・D課程</b> (節分豆)	・旬の食品を多く取り入れ、体を温める献立
3	1年間の反省をしよう	・給食のきまり(あいさつ、後片付け) ・衛生(手洗いなど) ・楽しい食事(マナー、環境づくりなど) ・食事のとり方(好ききらいなく、バランスのとれた食事)	・給食の決まりを守り、楽しい給食の時間を過ごすことができたか ・好ききらいなく食べることができたか	・給食の決まりを守り、楽しい給食の時間を過ごすことができたか ・好ききらいなく食べることができたか	・給食の決まりを守り、楽しい給食の時間を過ごすことができたか ・食べ物と健康について理解を深めることができたか	ひなまつり 卒業生リクエスト給食 卒業祝い	キャベツ、菜の花 小松菜 ほうれん草	いちご たんかん	さわら、青のり はまぐり あさり	<b>中C・D課程</b> (ケーキ、ひなあられ)	・各学部卒業生のリクエストを取り入れ、楽しい給食の思い出になるよう工夫